

2 回答者の基本属性

(1) 年齢

- 『あり方調査(20歳～69歳)』では「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」、『あり方調査(70歳以上)』では「70歳代」、『利用者実態調査』では「80歳代」が多く回答。
- 「住民基本台帳による東京都の世帯と人口の概要(平成31年1月1日時点)」と比べて、『あり方調査(20歳～69歳)』は「50歳代」、「60歳代」、『あり方調査(70歳以上)』は「70歳代」、『利用者実態調査』は「80歳代」が多く回答。

① 回答者の年齢(図表1)

【あり方調査(20歳～69歳)、あり方調査(70歳以上)】

20歳～69歳では、「50歳代」が24.7%、「40歳代」が24.6%、「60歳代」が24.2%と多く、一方で「30歳代」が17.0%、「20歳代」が8.2%と、他の世代と比べて若年層の占める割合は低くなっている。

また、70歳以上では、「70歳～74歳」が45.4%、「75歳～79歳」が30.5%、「80歳～84歳」が17.2%、「85歳～89歳」が5.3%、「90歳以上」が0.4%となっている。

【利用者実態調査】

「70歳代」は28.9%、「80歳代」は65.3%を占めており、「90歳以上」は4.8%となっている。

② 年齢別人口構成比との比較(図表1)

各調査の回答者と「住民基本台帳による東京都の世帯と人口の概要(平成31年1月1日時点)」の年齢別人口構成比を比較した。

【あり方調査(20歳～69歳)、あり方調査(70歳以上)】

「60歳代」が+8.6%ポイント、「50歳代」が+5.0%ポイントとなっている。一方、「30歳代」は▲4.6%ポイント、「20歳代」は▲10.3%ポイントと若年層の占める割合が低くなっているが、調査の分析に耐えうるサンプル数としては十分に確保できている。

また、「70歳代」は+17.1%ポイント、「80歳代」は▲11.1%ポイント、「90歳以上」は▲7.1%ポイントと、「70歳代」が占める割合が高くなっている。

【利用者実態調査】

「70歳代」は▲30.0%ポイント、「80歳代」は+31.7%ポイントであり、「80歳代」の占める割合が高くなっている。

図表 1 「住民基本台帳による東京都の世帯と人口の概要（平成 31 年 1 月 1 日時点）」
年齢別人口構成比との比較

	年齢	「住民基本台帳による 東京都の世帯と人口の概要」		本調査データ		構成比の比較 (%ポイント)
		サンプル数 (実数)	構成比 (%)	サンプル数 (実数)	構成比 (%)	
(20歳あり 5方調査 9歳)	TOTAL	9,254,496	-	5,398	-	-
	20歳代	1,710,413	18.5%	440	8.2%	▲10.3pt
	30歳代	1,994,940	21.6%	917	17.0%	▲4.6pt
	40歳代	2,278,773	24.6%	1,328	24.6%	▲0.0pt
	50歳代	1,818,889	19.7%	1,333	24.7%	5.0pt
	60歳代	1,449,481	15.7%	1,309	24.2%	8.6pt
	60歳～64歳	680,085	7.3%	600	11.1%	3.8pt
	65歳～69歳	769,396	8.3%	709	13.1%	4.8pt
	無回答	-	-	71	1.3%	-
(70歳あり 方以上調査)	TOTAL	2,334,318	-	1,868	-	-
	70歳代	1,373,450	58.8%	1,419	76.0%	17.1pt
	70歳～74歳	734,908	31.5%	849	45.4%	14.0pt
	75歳～79歳	638,542	27.4%	570	30.5%	3.2pt
	80歳代	784,158	33.6%	420	22.5%	▲11.1pt
	80歳～84歳	481,023	20.6%	321	17.2%	▲3.4pt
	85歳～89歳	303,135	13.0%	99	5.3%	▲7.7pt
	90歳以上	176,710	7.6%	8	0.4%	▲7.1pt
無回答	-	-	21	1.1%	-	
利用者 実態調査	TOTAL	2,334,318	-	7,947	-	-
	70歳代	1,373,450	58.8%	2,294	28.9%	▲30.0pt
	70歳～74歳	734,908	31.5%	54	0.7%	▲30.8pt
	75歳～79歳	638,542	27.4%	2,240	28.2%	0.8pt
	80歳代	784,158	33.6%	5,192	65.3%	31.7pt
	80歳～84歳	481,023	20.6%	2,612	32.9%	12.3pt
	85歳～89歳	303,135	13.0%	2,580	32.5%	11.9pt
	90歳以上	176,710	7.6%	380	4.8%	▲2.8pt
無回答	-	-	81	1.0%	-	

(2) 性別

- 『あり方調査(70歳以上)』では、「女性」56.0%、「男性」42.7%。『利用者実態調査』では、「女性」72.7%、「男性」26.1%。
- 「住民基本台帳による東京都の世帯と人口の概要(平成31年1月1日時点)」と比べて、『利用者実態調査』は、「男性」の占める割合が▲15.4%ポイントであり、「女性」の占める割合が+14.2%ポイント。

① 回答者の性別・構成比

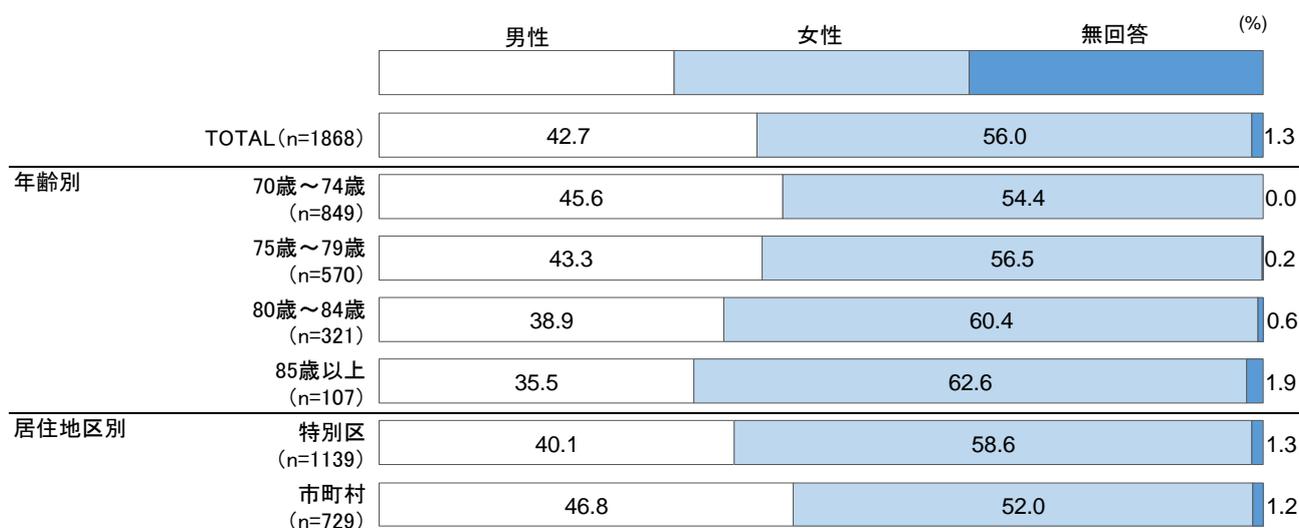
【あり方調査(70歳以上)】

「女性」が56.0%、「男性」が42.7%となっている(図表2)。

年齢別にみると、「女性」は「85歳以上」では62.6%、「80歳～84歳」では60.4%となっている(図表2)。

居住地区別にみると、「特別区」は「女性」が58.6%、「男性」が40.1%、「市町村」は「女性」が52.0%、「男性」が46.8%となっている(図表2)。

図表2 【あり方調査(70歳以上)】性別(年齢別、居住地区別)



【利用者実態調査】

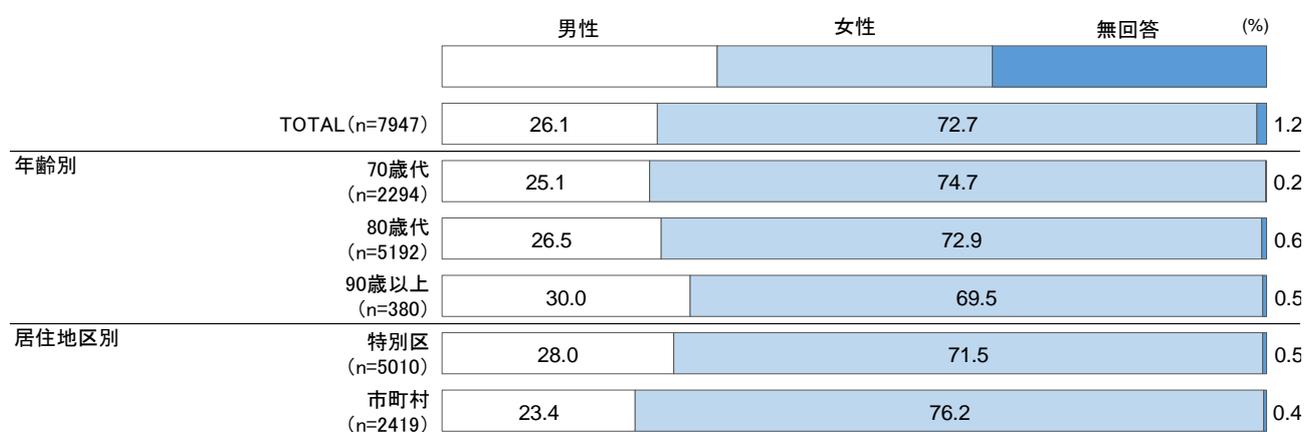
「女性」が72.7%、「男性」が26.1%となっている（図表3）。

年齢別にみると、「70歳代」は「女性」が74.7%、「90歳以上」は「男性」が30.0%となっている（図表3）。

居住地区別にみると、「特別区」は「女性」が71.5%、「男性」が28.0%、「市町村」は「女性」が76.2%、「男性」が23.4%（図表3）。

前ページの『あり方調査（70歳以上）』（図表2）では、「女性」が56.0%となっており、『利用者実態調査』の方が+16.7%ポイント高い。

図表3 【利用者実態調査】性別（年齢別、居住地区別）



② 性別人口構成比との比較（図表 4）

各調査の回答者と「住民基本台帳による東京都の世帯と人口の概要（平成 31 年 1 月 1 日時点）」における 70 歳以上の性別人口構成比を比較した。

【あり方調査（70 歳以上）】

「男性」は+1.2%ポイント、「女性」は▲2.5%ポイントとなっている。

【利用者実態調査】

「男性」の差は▲15.4%ポイント、「女性」は+14.2%ポイントとなっている。

図表 4 「住民基本台帳による東京都の世帯と人口の概要（平成 31 年 1 月 1 日時点）」
性別人口構成比との比較

	性別	「住民基本台帳による 東京都の世帯と人口の概要」		本調査データ		構成比の比較 (%ポイント)
		サンプル数 (実数)	構成比 (%)	サンプル数 (実数)	構成比 (%)	
(70歳以上調査)	TOTAL	2,334,318	-	1,868	-	-
	男	968,490	41.5%	798	42.7%	1.2%pt
	女	1,365,828	58.5%	1,046	56.0%	▲2.5%pt
	無回答	-	-	24	1.3%	
利用者実態調査	TOTAL	2,334,318	-	7,947	-	-
	男	968,490	41.5%	2,072	26.1%	▲15.4%pt
	女	1,365,828	58.5%	5,780	72.7%	14.2%pt
	無回答	-	-	95	1.2%	-

(3) 居住地区

- いずれの調査においても、「特別区」が6割超、「市部」が3割超、「町村部」が1割未満。
- 「住民基本台帳による東京都の世帯と人口の概要(平成31年1月1日時点)」と比べて、『あり方調査(20歳～69歳)』、『あり方調査(70歳以上)』の構成比は、「市町村」の割合が高く、『利用者実態調査』の構成比は、「特別区」の割合が高い。

① 回答者の居住地区・構成比(図表5)

【あり方調査(20歳～69歳)】

「特別区」が67.1%、「市部」が31.7%、「町村部」が1.2%となっている。

【あり方調査(70歳以上)】

「特別区」が61.0%、「市部」が36.5%、「町村部」が2.5%となっている。

【利用者実態調査】

「特別区」が67.4%、「市部」が32.2%、「町村部」が0.3%となっている。

② 居住地区別人口構成比との比較(図表5)

各調査の回答者と、「住民基本台帳による東京都の世帯と人口の概要」(平成31年1月1日時点)の居住地区の割合を比較した。

【あり方調査(20歳～69歳)】

「特別区」は▲3.4%ポイント、「市町村部」は+3.4%ポイントとなっている。

【あり方調査(70歳以上)】

「特別区」は▲4.8%ポイント、「市町村部」は+4.8%ポイントとなっている。

【利用者実態調査】

「特別区」は+1.6%ポイント、「市町村部」は▲1.6%ポイントとなっている。

図表5 「住民基本台帳による東京都の世帯と人口の概要(平成31年1月1日時点)」
居住地区別人口構成比との比較

	居住地区	「住民基本台帳による 東京都の世帯と人口の概要」		本調査データ		構成比の比較 (%ポイント)
		サンプル数 (実数)	構成比 (%)	サンプル数 (実数)	構成比 (%)	
(20歳～69歳) あり方調査	TOTAL	9,254,496	-	5,397	-	-
	特別区	6,523,211	70.5%	3,623	67.1%	▲3.4pt
	市町村部	2,731,285	29.5%	1,774	32.9%	3.4pt
	市部	2,682,491	29.0%	1,709	31.7%	2.7pt
	町村部	48,794	0.5%	65	1.2%	0.7pt
(70歳以上) あり方調査	TOTAL	2,334,318	-	1,868	-	-
	特別区	1,536,183	65.8%	1,139	61.0%	▲4.8pt
	市町村部	798,135	34.2%	729	39.0%	4.8pt
	市部	777,273	33.3%	682	36.5%	3.2pt
	町村部	20,862	0.9%	47	2.5%	1.6pt
利用者 実態調査	TOTAL	2,334,318	-	7,429	-	-
	特別区	1,536,183	65.8%	5,010	67.4%	1.6pt
	市町村部	798,135	34.2%	2,419	32.6%	▲1.6pt
	市部	777,273	33.3%	2,394	32.2%	▲1.1pt
	町村部	20,862	0.9%	25	0.3%	▲0.6pt

(4) 同居者

- 『あり方調査(20歳～69歳)』、『あり方調査(70歳以上)』、『利用者実態調査』のいずれの調査においても、全体では同居者が「配偶者」の割合が高い。
- 『あり方調査(70歳以上)』、『利用者実態調査』では、年齢が上がるにつれて、「配偶者」の割合が低くなり、「いない(ひとり暮らし)」の割合が高い。

【あり方調査(20歳～69歳)】

「配偶者」が63.3%と最も高く、次いで「未婚の子供」が38.9%、「親」が18.4%となっている(図表6)。

年齢別にみると、「30歳代」以上ではいずれの年齢層においても、「配偶者」が最も高く、中でも「60歳～64歳」が70.0%と高くなっている。また、「20歳代」では「親」が44.5%と最も高くなっている(図表6)。

図表6 【あり方調査(20歳～69歳)】同居者(複数回答)(年齢別、居住地区別)

縦(%)	TOTAL	年齢別						居住地区別	
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	特別区	市町村
TOTAL(n=)	5398	440	917	1328	1333	600	709	3623	1774
いない(ひとり暮らし)	15.5	24.3	15.4	13.7	15.0	13.5	17.8	16.6	13.2
配偶者	63.3	24.5	66.5	67.6	66.5	70.0	69.7	62.5	65.0
未婚の子供	38.9	8.4	41.1	48.9	46.9	34.3	29.3	38.1	40.7
既婚の子供	5.1	1.1	7.0	7.4	3.4	3.7	5.8	5.2	4.9
子供の配偶者	1.6	0.9	0.9	1.4	0.9	2.7	3.8	1.7	1.4
孫	1.3	0.2	0.1	0.0	0.8	3.2	5.1	1.3	1.2
親	18.4	44.5	16.8	18.0	19.7	14.5	7.3	17.4	20.2
その他	5.3	22.3	5.0	3.6	3.8	3.5	2.8	5.4	5.1
無回答	1.5	0.2	0.1	0.5	0.1	0.3	0.6	1.6	1.4

【あり方調査（70歳以上）】

「配偶者」が63.9%と最も高く、次いで「未婚の子供」が23.3%、「いない（ひとり暮らし）」が21.3%となっている（図表7）。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、「配偶者」の割合が低くなり、「いない（ひとり暮らし）」の割合が高くなっている（図表7）。

性別にみると、「男性」は「配偶者」が80.7%と、「女性」の52.4%と比較して高くなっている（図表7）。

居住地区別にみると、「特別区」、「市町村」とともに「配偶者」が最も高くなっており、「市町村」は67.5%、「特別区」は61.6%となっている。次いで、「特別区」は「いない（ひとり暮らし）」が23.1%、「市町村」は「未婚の子供」が24.0%となっている（図表7）。

図表7 【あり方調査（70歳以上）】同居者(複数回答)（年齢別、性別、居住地区別）

縦(%)	TOTAL	年齢別				性別		居住地区別	
		70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	男性	女性	特別区	市町村
TOTAL(n=)	1868	849	570	321	107	798	1046	1139	729
いない(ひとり暮らし)	21.3	18.7	23.0	24.0	28.0	13.2	27.6	23.1	18.4
配偶者	63.9	69.0	63.0	61.7	46.7	80.7	52.4	61.6	67.5
未婚の子供	23.3	25.9	21.8	21.2	22.4	24.2	23.2	22.9	24.0
既婚の子供	6.6	5.2	7.5	7.5	12.1	5.6	7.6	6.5	6.9
子供の配偶者	4.8	3.4	5.8	5.0	10.3	3.8	5.6	4.7	4.8
孫	6.4	5.5	7.5	6.5	8.4	5.6	7.2	6.4	6.4
親	2.1	3.9	0.7	0.6	0.0	3.1	1.4	2.5	1.6
その他	1.7	2.2	1.6	1.2	0.0	1.1	2.2	2.2	1.0
無回答	1.7	0.1	1.4	1.2	0.0	0.3	1.1	1.9	1.4

【あり方調査（20歳～69歳）、（70歳以上）】

年齢・居住地区別にみると、『あり方調査（20歳～69歳）』では、「30歳代」は「親」と同居している人が「市町村」では26.8%と「特別区」の12.4%と比べて高くなっている。また、「20歳代」、「50歳代」は「未婚の子供」と同居している人が「特別区」より「市町村」の割合が高くなっている（図表8）。

『あり方調査（70歳以上）』では、「配偶者」と同居している人は、いずれの年齢層においても「特別区」より「市町村」の割合が高くなっている。また、「70歳～74歳」は「いない（ひとり暮らし）」が「特別区」では21.7%と、「市町村」の14.7%と比較して高くなっている（図表9）。

図表8 【あり方調査（20歳～69歳）】同居者(複数回答)（年齢・居住地区別）

横(%)		TOTAL (n=)	いない(ひとり暮らし)	配偶者	未婚の子供	既婚の子供	子供の配偶者	孫	親	その他	無回答
TOTAL		5398	15.5	63.3	38.9	5.1	1.6	1.3	18.4	5.3	1.5
	特別区	3623	16.6	62.5	38.1	5.2	1.7	1.3	17.4	5.4	1.6
	市町村	1774	13.2	65.0	40.7	4.9	1.4	1.2	20.2	5.1	1.4
20歳代	特別区	311	27.0	23.2	6.4	1.6	1.0	0.0	42.8	22.2	0.3
	市町村	129	17.8	27.9	13.2	0.0	0.8	0.8	48.8	22.5	0.0
30歳代	特別区	637	17.0	68.3	41.0	7.1	1.1	0.0	12.4	4.9	0.0
	市町村	280	11.8	62.5	41.4	6.8	0.4	0.4	26.8	5.4	0.4
40歳代	特別区	915	14.3	67.7	49.0	7.1	1.1	0.0	17.4	3.5	0.3
	市町村	413	12.3	67.6	48.7	8.0	2.2	0.0	19.4	3.9	0.7
50歳代	特別区	881	16.1	64.9	44.5	3.2	1.1	0.7	20.0	3.6	0.0
	市町村	452	12.8	69.7	51.5	3.8	0.4	1.1	19.0	4.2	0.2
60歳～64歳	特別区	347	14.4	68.3	33.4	3.5	2.3	2.9	14.7	3.7	0.6
	市町村	253	12.3	72.3	35.6	4.0	3.2	3.6	14.2	3.2	0.0
65歳～69歳	特別区	481	18.1	68.4	29.7	6.9	4.8	6.4	6.9	3.5	0.6
	市町村	228	17.1	72.4	28.5	3.5	1.8	2.2	8.3	1.3	0.4

図表9 【あり方調査（70歳以上）】同居者(複数回答)（年齢・居住地区別）

横(%)		TOTAL (n=)	いない(ひとり暮らし)	配偶者	未婚の子供	既婚の子供	子供の配偶者	孫	親	その他	無回答
TOTAL		1868	21.3	63.9	23.3	6.6	4.8	6.4	2.1	1.7	1.7
	特別区	1139	23.1	61.6	22.9	6.5	4.7	6.4	2.5	2.2	1.9
	市町村	729	18.4	67.5	24.0	6.9	4.8	6.4	1.6	1.0	1.4
70歳～74歳	特別区	489	21.7	66.9	25.2	4.9	3.5	5.5	4.3	2.9	0.0
	市町村	360	14.7	71.9	26.9	5.6	3.3	5.6	3.3	1.4	0.3
75歳～79歳	特別区	375	23.5	62.7	20.0	7.7	5.6	7.7	1.1	2.1	1.6
	市町村	195	22.1	63.6	25.1	7.2	6.2	7.2	0.0	0.5	1.0
80歳～84歳	特別区	190	23.7	57.9	24.7	7.4	4.2	6.3	1.1	1.6	1.6
	市町村	131	24.4	67.2	16.0	7.6	6.1	6.9	0.0	0.8	0.8
85歳以上	特別区	70	34.3	41.4	22.9	10.0	11.4	7.1	0.0	0.0	0.0
	市町村	37	16.2	56.8	21.6	16.2	8.1	10.8	0.0	0.0	0.0

【利用者実態調査】

「配偶者」が48.5%と最も高く、次いで「いない(ひとり暮らし)」が29.5%、「未婚の子供」が19.7%となっている(図表10)。

年齢別にみると、「70歳代」、「80歳代」は「配偶者」がそれぞれ61.7%、44.7%と最も高くなっている(図表10)。

一方、「90歳以上」は「いない(ひとり暮らし)」が33.9%と最も高くなっている(図表10)。

性別にみると、「男性」は「配偶者」が74.2%と「女性」の39.7%と比較して高くなっている。「女性」は「いない(ひとり暮らし)」が33.7%と「男性」の18.3%と比較して高くなっている。

居住地区別にみると、「市町村」は「配偶者」が51.6%と「特別区」の48.2%と比較して高くなっている(図表10)。

また、年齢・居住地区別にみると、いずれの年齢層においても「配偶者」と同居している人は、「特別区」より「市町村」の割合が高くなっており、「いない(ひとり暮らし)」は「市町村」より「特別区」の割合が高くなっている(図表11)。

図表10 【利用者実態調査】同居者(複数回答)(年齢別、性別、居住地区別)

	TOTAL	年齢別			性別		居住地区別	
		70歳代	80歳代	90歳以上	男性	女性	特別区	市町村
縦(%)								
TOTAL(n=)	7947	2294	5192	380	2072	5780	5010	2419
いない(ひとり暮らし)	29.5	23.4	32.1	33.9	18.3	33.7	30.0	28.2
配偶者	48.5	61.7	44.7	26.3	74.2	39.7	48.2	51.6
未婚の子供	19.7	20.7	19.3	21.8	16.7	21.0	20.3	19.4
既婚の子供	7.9	4.8	8.6	18.7	4.3	9.3	8.4	7.4
子供の配偶者	5.9	3.7	6.5	11.3	3.3	6.8	6.0	5.4
孫	6.5	5.4	7.1	6.3	4.2	7.4	7.1	5.7
親	0.3	0.7	0.2	0.0	0.4	0.3	0.4	0.2
その他	2.4	2.1	2.6	2.6	1.5	2.8	2.7	2.1
無回答	1.8	0.8	1.4	1.3	0.9	1.3	1.0	1.0

図表11 【利用者実態調査】同居者(複数回答)(年齢・居住地区別)

	TOTAL(n=)	いない(ひとり暮らし)	配偶者	未婚の子供	既婚の子供	子供の配偶者	孫	親	その他	無回答
TOTAL	7947	29.5	48.5	19.7	7.9	5.9	6.5	0.3	2.4	1.8
70歳代										
特別区	1489	24.4	61.0	21.4	4.6	3.6	5.8	0.9	2.6	0.6
市町村	720	20.7	64.4	20.1	4.4	3.8	4.7	0.1	1.4	0.8
80歳代										
特別区	3251	32.2	44.2	19.7	9.2	6.7	7.8	0.2	2.8	1.2
市町村	1593	31.4	47.1	19.0	8.3	5.9	6.1	0.2	2.3	0.9
90歳以上										
特別区	255	34.1	25.1	22.7	20.4	11.8	6.7	0.0	2.0	1.2
市町村	100	31.0	30.0	21.0	16.0	10.0	6.0	0.0	4.0	2.0

(5) 自動車運転免許の有無（バイク、原付を含む）

- 『あり方調査(70歳以上)』、『利用者実態調査』ともに、「免許なし」の割合が最も高く、年齢別にみると、年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向にある。また、「20,510円」パス所持者は免許を持っている割合が「1,000円」パス所持者と比較して高い。
- 『あり方調査(70歳以上)』では、シルバーパス未所持者は「免許有/運転する」が41.0%と所持者の15.1%と比較して高くなっている。

【あり方調査（70歳以上）】

「免許なし」が34.0%と最も高く、次いで「免許有/運転する」が27.7%、「免許を返納した」が22.2%となっている（図表12）。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「免許有/運転する」、「免許有/運転しない」、「免許有/運転できない」が低くなり、「免許なし」が高くなっている（図表12）。

性別にみると、「男性」は「免許有/運転する」が49.6%、「女性」は「免許なし」が51.5%と最も高くなっている（図表12）。

居住地区別にみると、「市町村」は「免許有/運転する」が41.4%と「特別区」の19.0%と比較して高くなっている。また、「特別区」は「免許なし」が37.1%、「免許を返納した」が25.6%と「市町村」の29.1%、16.9%と比較して高くなっている（図表12）。

シルバーパスの所持状況別にみると、「所持」は「免許なし」が44.1%、「未所持」は「免許有/運転する」が41.0%と最も高くなっている（図表12）。

シルバーパスの種別にみると、「20,510円」パス所持者は「免許有/運転する」が31.9%と「1,000円」パス所持者の12.7%と比較して高くなっている。また、「1,000円」パス所持者は「免許なし」が46.6%、「免許を返納した」が24.1%と「20,510円」パス所持者の26.5%、20.4%と比較して高くなっている（図表12）。

図表 12 【あり方調査（70歳以上）】自動車運転免許の所持状況
 （年齢別、性別、居住地区別、シルバーパスの所持・種別）

		免許有/ 運転する	免許有/ 運転しない	免許有/ 運転できない	免許を 返納した	免許なし	無回答 (%)		
TOTAL (n=1868)		27.7	9.3	2.5	22.2	34.0	4.2		
年齢別	70歳～74歳 (n=849)	37.6		14.6	4.5	14.0	27.6	1.8	
	75歳～79歳 (n=570)	24.7	5.6	1.1	29.8		35.3	3.5	
	80歳～84歳 (n=321)	15.0	4.4	0.9	29.9		44.2	5.6	
	85歳以上 (n=107)	8.4	3.7	0.0	28.0		53.3	6.5	
性別	男性 (n=798)		49.6		13.2	1.6	23.2	11.8	0.6
	女性 (n=1046)	11.5	6.6	3.3	21.9		51.5	5.3	
居住地区別	特別区 (n=1139)	19.0	10.6	2.5	25.6		37.1	5.2	
	市町村 (n=729)		41.4		7.3	2.6	16.9	29.1	2.7
シルバーパスの 所持・種別	所持 (n=948)	15.1	7.7	3.1	23.7		44.1	6.3	
	1,000円 (n=826)	12.7	6.3	3.4	24.1		46.6	6.9	
	20,510円 (n=113)		31.9		17.7	0.9	20.4	26.5	2.7
	未所持 (n=882)		41.0		11.3	1.8	20.6	23.5	1.7

【利用者実態調査】

「免許なし」が53.9%と最も高く、次いで「免許を返納した」が27.4%となっている（図表13）。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「免許有/運転する」、「免許有/運転しない」、「免許有/運転できない」が低くなり、「免許なし」が高くなっている（図表13）。

性別にみると、「女性」は「免許なし」が65.5%、「男性」は「免許を返納した」が47.6%と最も高くなっている。また「免許有/運転する」が「男性」が16.0%と「女性」の3.3%と比較して高くなっている（図表13）。

居住地区別にみると、「特別区」、「市町村」とともに「免許なし」が最も高く、次いで「返納した」となっている。また、「市町村」は「免許有/運転する」が9.9%と「特別区」の5.3%と比較して高くなっている（図表13）。

シルバーパスの種別にみると、「1,000円」パス所持者は「免許なし」が56.7%、「20,510円」パス所持者は「免許を返納した」が39.4%と最も高くなっている。また、「20,510円」パス所持者は「免許有/運転する」が16.4%と「1,000円」パス所持者の5.4%と比較して高くなっている（図表13）。

図表13 【利用者実態調査】自動車運転免許の所持状況
（年齢別、性別、居住地区別、シルバーパスの種別）

		免許有/ 運転する	免許有/ 運転しない	免許有/ 運転できない	免許を 返納した	免許なし	無回答 (%)
	TOTAL (n=7947)	6.6	3.1	0.8	27.4	53.9	8.2
年齢別	70歳代 (n=2294)	11.7	5.8	1.3	29.3	48.0	4.0
	80歳代 (n=5192)	4.8	2.2	0.6	27.3	56.3	8.7
	90歳以上 (n=380)	1.6	0.5	0.3	20.8	64.5	12.4
性別	男性 (n=2072)	16.0	8.2	1.4	47.6	23.1	3.8
	女性 (n=5780)	3.3	0.5	1.4	20.4	65.5	8.9
居住地区別	特別区 (n=5010)	5.3	3.2	0.7	28.0	55.3	7.4
	市町村 (n=2419)	9.9	3.3	0.9	27.6	52.9	5.4
シルバーパスの 種別	1,000円 (n=6999)	5.4	2.7	0.6	26.1	56.7	8.4
	20,510円 (n=848)	16.4	6.7	1.5	39.4	33.1	2.8

(6) 自由に使える車の有無

- 設問「自動車運転免許の有無(バイク、原付を含む)」において、「免許有/運転する」と回答した人のうち「自由に使える車がある」人の割合は、『あり方調査(70歳以上)』では83.2%、『利用者実態調査』では71.0%。
- 『あり方調査(70歳以上)』、『利用者実態調査』のいずれの調査においても、「自由に使える車がある」は、「特別区」より「市町村」が高い。
- 『あり方調査(70歳以上)』では、「自由に使える車がある」は、シルバーパス未所持者が87.3%と所持者の74.1%と比較して高い。

【あり方調査(70歳以上)】

設問「自動車運転免許の有無(バイク、原付を含む)」において、「免許有/運転する」と回答した人の「自由に使える車の有無」は、「自由に使える車がある」が83.2%、「自由に使える車はない」が6.8%となっている(図表14)。

年齢別にみると、他の年齢層と比べて「80歳～84歳」以上では「自由に使える車がある」が低くなっており、「自由に使える車はない」、「無回答」が高くなっている(図表14)。

性別にみると差はなく、「男性」、「女性」とともに「自由に使える車がある」が83.3%となっている(図表14)。

居住地区別にみると、「市町村」は「自由に使える車がある」が86.1%と「特別区」の79.2%と比較して高く、「自由に使える車はない」は、「特別区」が10.2%と「市町村」の4.3%と比較して高くなっている(図表14)。

シルバーパスの所持状況別にみると、「未所持」は「自由に使える車がある」は87.3%と「所持」の74.1%と比較して高く、一方、「所持」は「自由に使える車はない」が14.0%と「未所持」の4.1%と比較して高くなっている(図表14)。

図表 14 【あり方調査（70歳以上）】自由に使える車の有無
（年齢別、性別、居住地区別、シルバーパスの所持・種別）

		自由に使える 車がある	自由に使える 車はない	無回答	(%)
TOTAL (n=518)		83.2	6.8	10.0	
年齢別	70歳～74歳 (n=319)	85.6	6.3	8.2	
	75歳～79歳 (n=141)	85.1	5.7	9.2	
	80歳～84歳 (n=48)	64.6	12.5	22.9	
	85歳以上 (n=9)	66.7	11.1	22.2	
性別	男性 (n=396)	83.3	6.6	10.1	
	女性 (n=120)	83.3	7.5	9.2	
居住地区別	特別区 (n=216)	79.2	10.2	10.6	
	市町村 (n=302)	86.1	4.3	9.6	
シルバーパスの 所持・種別	所持 (n=143)	74.1	14.0	11.9	
	1,000円 (n=105)	73.3	13.3	13.3	
	20,510円 (n=36)	77.8	16.7	5.6	
	未所持 (n=362)	87.3	4.1	8.6	

【利用者実態調査】

設問「自動車運転免許の有無（バイク、原付を含む）」において、「免許有/運転する」と回答した人の「自由に使える車の有無」は、「自由に使える車がある」が71.0%、「自由に使える車はない」が16.6%となっている（図表15）。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「自由に使える車がある」が低くなっている（図表15）。

性別にみると、「自由に使える車がある」は、「女性」が73.1%、「男性」が70.1%となっている（図表15）。

居住地区別にみると、「市町村」は「自由に使える車がある」が76.3%と「特別区」の67.2%と比較して高く、「自由に使える車はない」は、「特別区」が20.8%と「市町村」の12.1%と比較して高くなっている（図表15）。

シルバーパスの種別にみると、「1,000円」パス所持者、「20,510円」パス所持者ともに、「自由に使える車がある」が7割以上となっている（図表15）。

図表 15 【利用者実態調査】自由に使える車の有無
(年齢別、性別、居住地区別、シルバーパスの種別)

		自由に使える車がある	自由に使える車はない	無回答	(%)
TOTAL (n=525)		71.0	16.6	12.4	
年齢別	70歳代 (n=269)	74.7	15.2	10.0	
	80歳代 (n=249)	67.5	18.1	14.5	
	90歳以上 (n=6)	66.7	16.7	16.7	
性別	男性 (n=331)	70.1	16.9	13.0	
	女性 (n=193)	73.1	16.1	10.9	
居住地区別	特別区 (n=265)	67.2	20.8	12.1	
	市町村 (n=240)	76.3	12.1	11.7	
シルバーパスの種別	1,000円 (n=381)	70.9	16.3	12.9	
	20,510円 (n=139)	71.9	16.5	11.5	

(7) 仕事の有無

- 『あり方調査(70歳以上)』では、「収入のある仕事はしていない」が67.7%、「収入のある仕事をしている」が24.8%。『利用者実態調査』では「収入のある仕事はしていない」が83.8%、「収入のある仕事をしている」が9.7%。
- 東京都福祉保健基礎調査「平成27年度『高齢者の生活実態』」と比べて、「仕事をしている」人は、『あり方調査(70歳以上)』では、+1.7%ポイントであり、『利用者実態調査』では、▲13.4%ポイント。

① 回答者の仕事の有無

【あり方調査(70歳以上)】

「収入のある仕事はしていない」が67.7%と最も高く、次いで「収入のある仕事をしている」が24.8%となっている(図表16)。

年齢別にみると、「収入のある仕事はしていない」は年齢が上がるにつれて割合が高くなっている(図表16)。

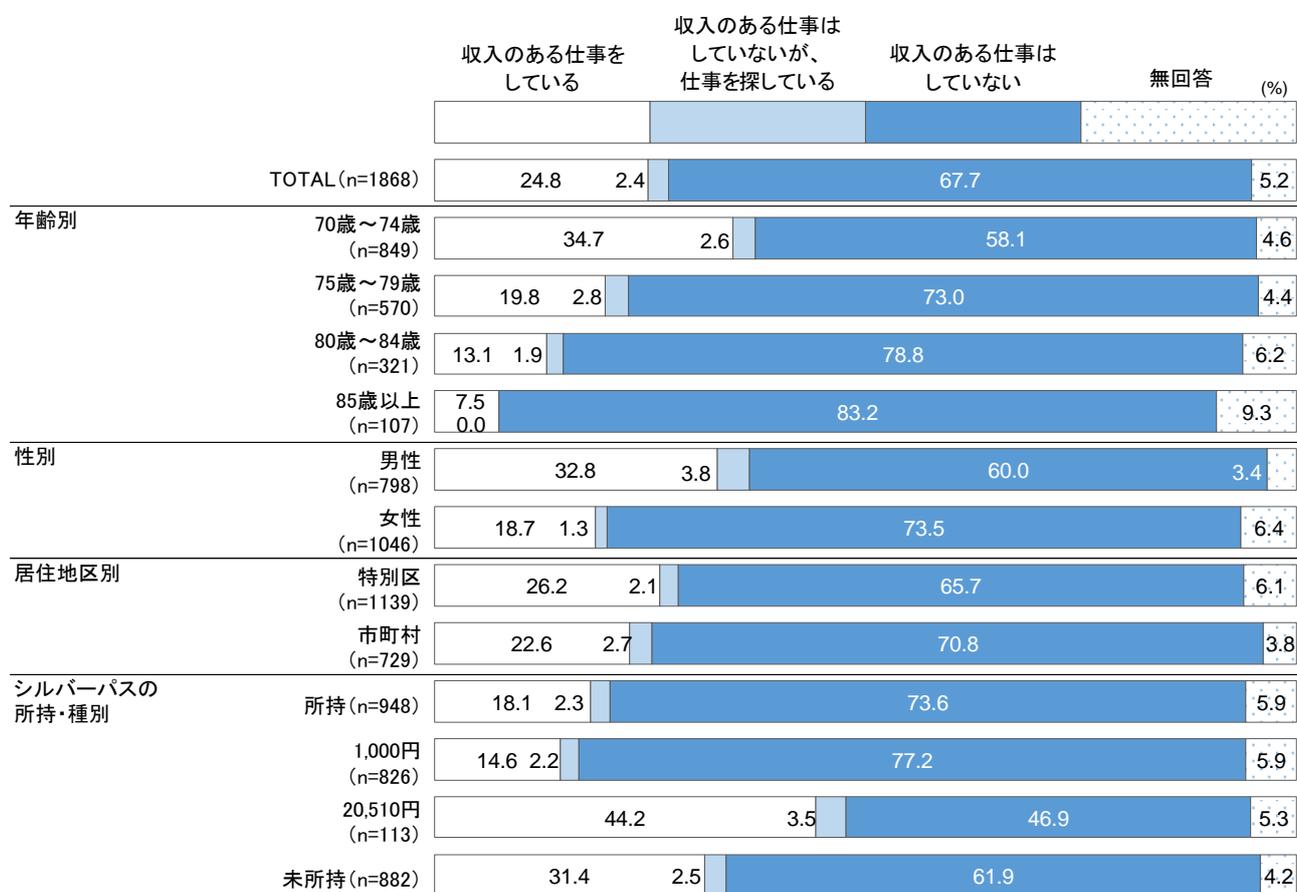
性別にみると、「男性」、「女性」とともに「収入のある仕事はしていない」が高いが、「収入のある仕事をしている」は、「男性」が32.8%と「女性」の18.7%と比較して高くなっている(図表16)。

居住地区別にみると、「市町村」は「収入のある仕事はしていない」が70.8%と「特別区」の65.7%と比較して高くなっている(図表16)。

シルバーパスの所持状況別にみると、「所持」は「収入のある仕事はしていない」が73.6%と「未所持」の61.9%と比較して高くなっている(図表16)。

シルバーパスの種別にみると、「1,000円」パス所持者は「収入のある仕事はしていない」が77.2%と「20,510円」パス所持者の46.9%と比較して高くなっている。また、「20,510円」パス所持者は、「収入のある仕事をしている」が44.2%と「1,000円」パス所持者の14.6%と比較して高くなっている(図表16)。

図表 16 【あり方調査（70歳以上）】収入のある仕事の有無
（年齢別、性別、居住地区別、シルバーパスの所持・種別）



【利用者実態調査】

「収入のある仕事はしていない」が83.8%と最も高くなっている（図表17）。

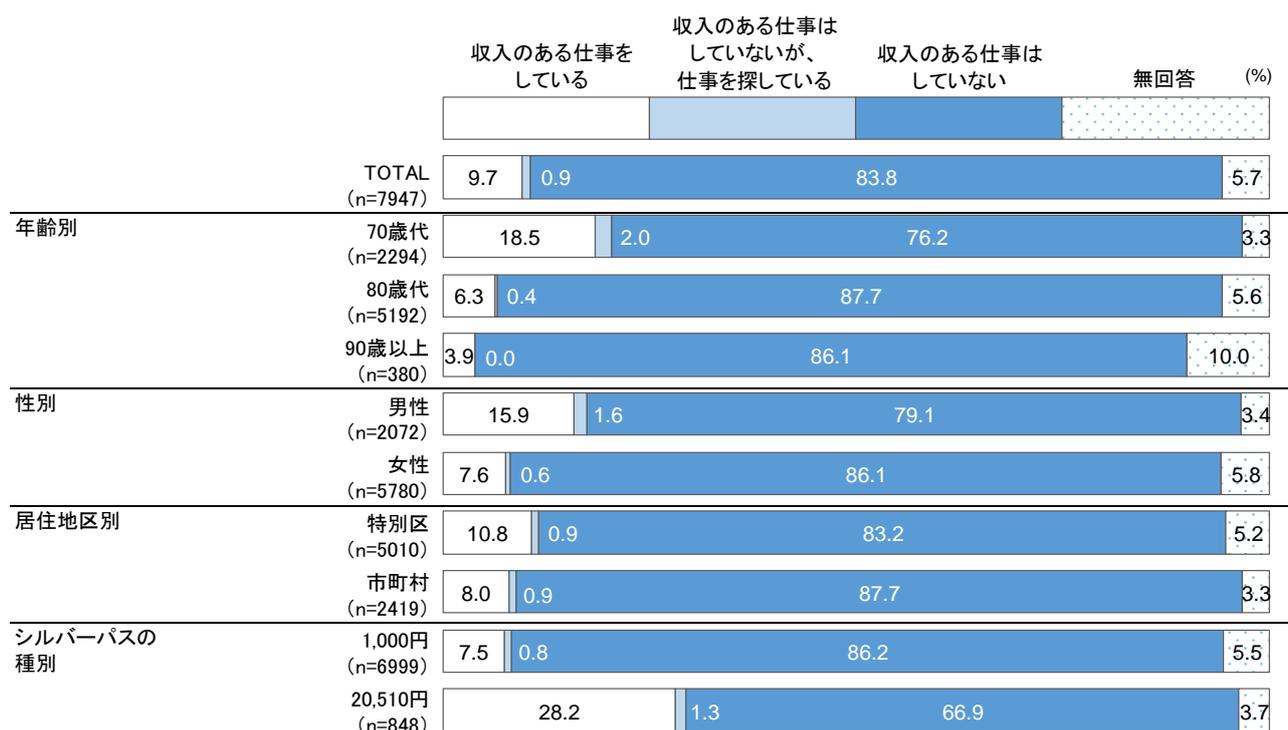
年齢別にみると、「収入のある仕事はしていない」が各年齢層で最も高くなっている（図表17）。

性別にみると、「男性」、「女性」とともに「収入のある仕事はしていない」が最も高いが、「収入のある仕事をしている」は、「男性」が15.9%と「女性」の7.6%と比較して高くなっている（図表17）。

居住地区別にみると、「市町村」は「収入のある仕事はしていない」が87.7%と「特別区」の83.2%と比較して高くなっている（図表17）

シルバーパスの種別にみると、「1,000円」パス所持者は「収入のある仕事はしていない」が86.2%と「20,510円」パス所持者の66.9%と比較して高くなっている。また、「20,510円」パス所持者は、「収入のある仕事をしている」が28.2%と「1,000円」パス所持者の7.5%と比較して高くなっている（図表17）。

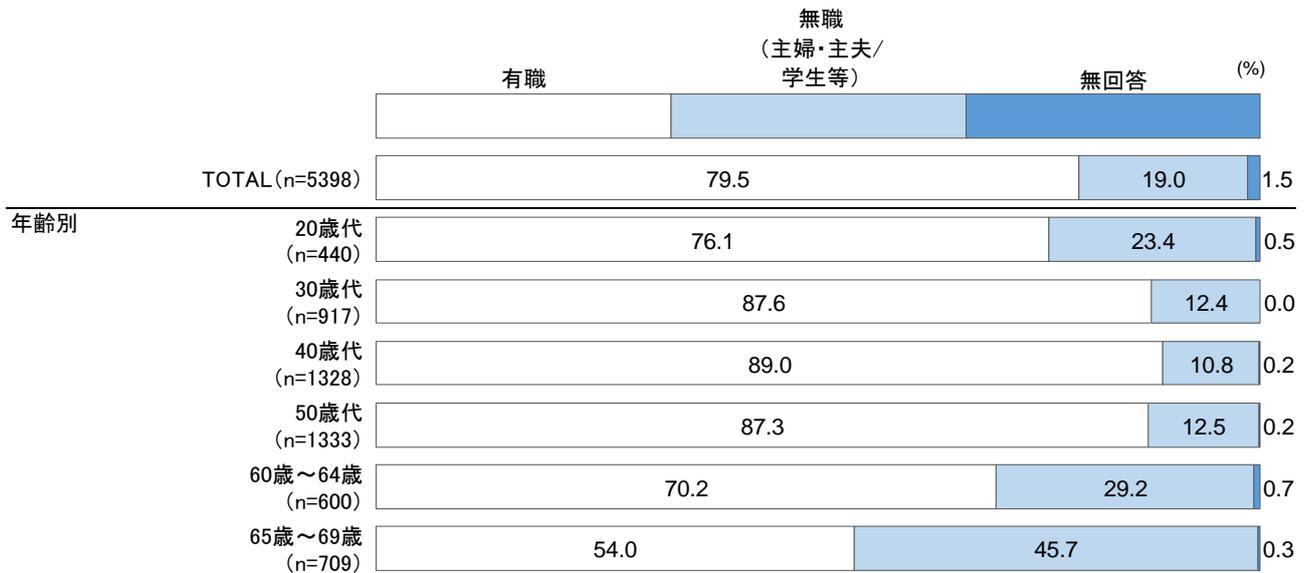
図表 17 【利用者実態調査】収入のある仕事の有無
（年齢別、性別、居住地区別、シルバーパスの種別）



【あり方調査（20歳～69歳）】

「有職」は79.5%、「無職（主婦・主夫/学生等）」は19.0%となっている。「65歳～69歳」では54.0%が「有職」となっている（図表18）。

図表 18 【あり方調査（20歳～69歳）】職業の有無（年齢別）



② 仕事の有無別人口構成比との比較（図表 19）

各調査の回答者と、東京都福祉保健基礎調査「平成 27 年度『高齢者の生活実態』」における 70 歳以上の仕事の有無の割合を比較した。

【あり方調査（70 歳以上）】

「仕事をしている」は+1.7%ポイント、「仕事をしていない」は▲6.4%ポイントとなっている。

【利用者実態調査】

「仕事をしている」は▲13.4%ポイント、「仕事をしていない」は+8.2%ポイントとなっている。

図表 19 東京都福祉保健基礎調査「平成 27 年度『高齢者の生活実態』」
仕事の有無別人口構成比との比較

	仕事の有無	東京都福祉保健局基礎調査 「平成27年度『高齢者の生活実態』」		本調査データ		統計データとの比較 (%ポイント)
		サンプル数 (実数)	構成比 (%)	サンプル数 (実数)	構成比 (%)	
(70歳方 以上 調査)	TOTAL	3,132	-	1,868	-	-
	仕事をしている	723	23.1%	463	24.8%	1.7%pt
	仕事をしていない	2,393	76.4%	1,308	70.0%	▲6.4%pt
	無回答	16	0.5%	97	5.2%	4.7%pt
利用者 実態 調査	TOTAL	3,132	-	7,947	-	-
	仕事をしている	723	23.1%	768	9.7%	▲13.4%pt
	仕事をしていない	2,393	76.4%	6,727	84.6%	8.2%pt
	無回答	16	0.5%	452	5.7%	5.2%pt

※本調査データの「仕事をしていない」のサンプル数は、『あり方調査（70 歳以上）』、『利用者実態調査』の選択肢「収入ある仕事はしていないが、仕事を探している」と「収入ある仕事はしていない」の計である。

(8) 収入のある仕事の頻度 (定期・不定期)

- 設問「仕事の有無」において、「収入のある仕事をしている」と回答した人の仕事の頻度は、『あり方調査(70歳以上)』では「定期」が65.0%と最も高く、次いで「不定期」が22.9%である。
- 『利用者実態調査』では、「無回答」が57.6%と最も高く、次いで「不定期」が22.3%、「定期」が20.2%である。

【あり方調査(70歳以上)】

設問「仕事の有無」において、「収入のある仕事をしている」と回答した人のうち、「週()日程度」と回答したものを「定期」として比較したところ、「定期」が65.0%と最も高く、次いで「不定期」が22.9%となっている(図表20)。

年齢別にみると、「70歳～74歳」は「定期」が69.2%と、他の年齢層と比べて高くなっている(図表20)。

性別にみると、「男性」は「定期」が68.7%と「女性」の60.2%と比較して高くなっている。また、「女性」は「不定期」が27.0%と「男性」の19.8%と比較して高くなっている(図表20)。

シルバーパスの所持状況別にみると、「所持」は「定期」が69.2%と「未所持」の62.5%と比較して高く、「未所持」は「不定期」が26.0%と「所持」の19.8%と比較して高くなっている(図表20)。

図表20 【あり方調査(70歳以上)】収入のある仕事の頻度
(年齢別、性別、居住地区別、シルバーパスの所持・種別)

		定期	不定期	無回答	(%)
TOTAL (n=463)		65.0	22.9	12.1	
年齢別	70歳～74歳 (n=295)	69.2	21.0	9.8	
	75歳～79歳 (n=113)	56.6	26.5	16.8	
	80歳～84歳 (n=42)	64.3	23.8	11.9	
	85歳以上 (n=8)	37.5	37.5	25.0	
性別	男性 (n=262)	68.7	19.8	11.5	
	女性 (n=196)	60.2	27.0	12.8	
居住地区	特別区 (n=298)	65.1	23.8	11.1	
	市町村 (n=165)	64.8	21.2	13.9	
シルバーパスの 所持・種別	所持 (n=172)	69.2	19.8	11.0	
	1,000円 (n=121)	69.4	19.0	11.6	
	20,510円 (n=50)	68.0	22.0	10.0	
	未所持 (n=277)	62.5	26.0	11.6	

※「定期」は、「収入のある仕事の頻度」において、「週()日程度」と回答したものの合計。

【利用者実態調査】

設問「仕事の有無」において、「収入のある仕事をしている」と回答した人のうち、「週（ ）日程度」と回答したものを「定期」として比較したところ、「不定期」が22.3%、「定期」が20.2%となっている。また、「無回答」が57.6%と最も高くなっている（図表21）。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「定期」が低くなり、「不定期」が高くなっている（図表21）。

シルバーパスの種別にみると、「1,000円」パス所持者は、「定期」が22.3%と「20,510円」パス所持者の15.5%と比較して高くなっている。また、「20,510円」パス所持者は「不定期」が25.1%と「1,000円」パス所持者の20.8%と比較して高くなっている。（図表21）。

図表 21 【利用者実態調査】仕事の頻度
(年齢別、性別、居住地区別、シルバーパスの種別)

		定期	不定期	無回答	(%)
TOTAL (n=768)		20.2	22.3	57.6	
年齢別	70歳代 (n=425)	21.6	16.5	61.9	
	80歳代 (n=328)	18.9	29.3	51.8	
	90歳以上 (n=15)	6.7	33.3	60.0	
性別	男性 (n=329)	20.4	21.0	58.7	
	女性 (n=437)	20.1	23.1	56.8	
居住地区別	特別区 (n=540)	20.4	22.4	57.2	
	市町村 (n=194)	21.6	22.7	55.7	
シルバーパスの種別	1,000円 (n=525)	22.3	20.8	57.0	
	20,510円 (n=239)	15.5	25.1	59.4	

※「定期」は、「収入のある仕事の頻度」において、「週（ ）日程度」と回答したものの合計。

(9) 収入のある仕事の勤務日数/週

- 設問「収入のある仕事の頻度(定期・不定期)」における「定期」のうち、週「5日」以上仕事をしている割合は、『あり方調査(70歳以上)』では50.2%(5日34.6%、6日12.3%、7日3.3%)。
- 『利用者実態調査』では、32.2%(5日25.8%、6日4.5%、7日1.9%)。

【あり方調査(70歳以上)】

設問「収入のある仕事の頻度(定期・不定期)」における「定期」の内訳は、週「5日」が34.6%と最も高く、週「5日」以上の割合は50.2%となっている(図表22)。

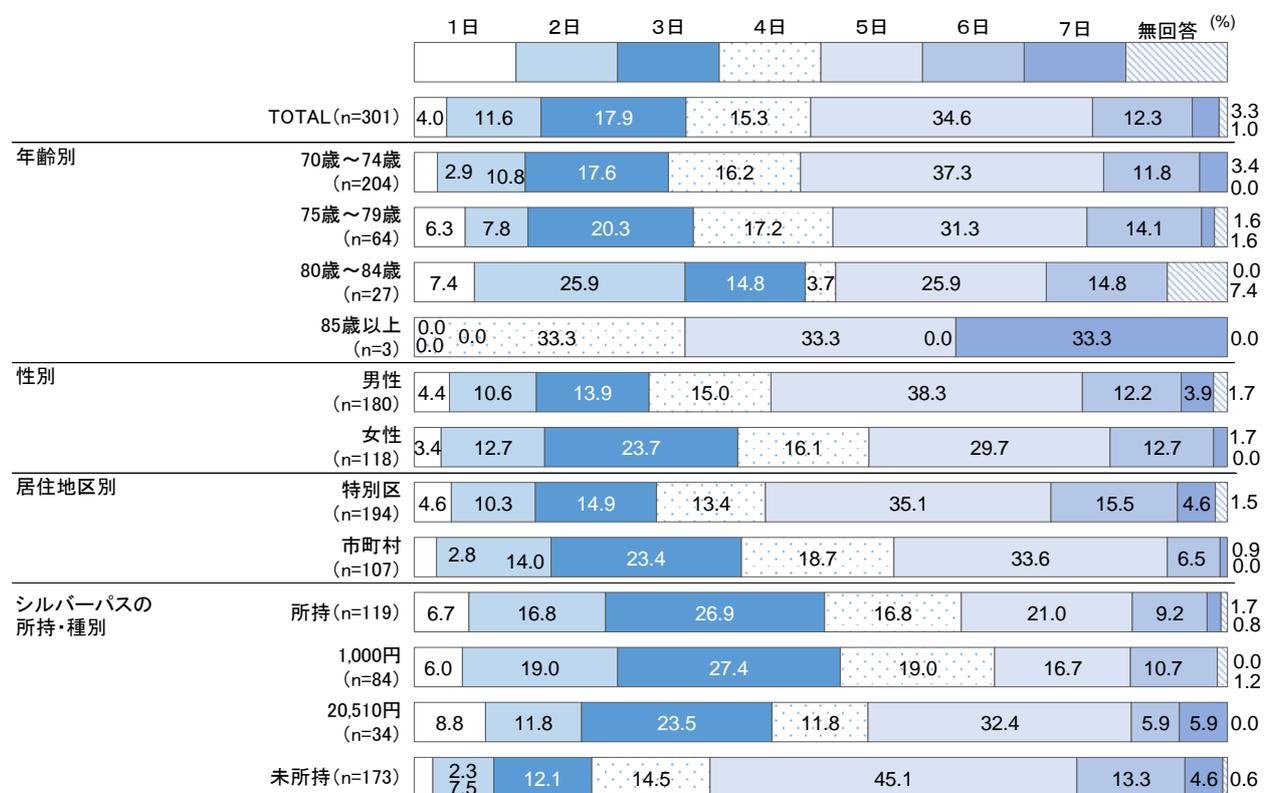
性別にみると、「男性」は週「5日」が38.3%と最も高く、週「5日」以上の割合は54.4%であり、「女性」は週「5日」が29.7%と最も高く、週「5日」以上の割合は44.1%となっている(図表22)。

居住地区別にみると、「特別区」は週「5日」が35.1%と最も高く、週「5日」以上の割合は55.2%であり、「市町村」は週「5日」が33.6%と最も高く、週「5日」以上の割合は41.0%となっている(図表22)。

シルバークラスの所持状況別にみると、「所持」は週「3日」が26.9%と最も高く、週「5日」以上の割合は31.9%であり、「未所持」は週「5日」が45.1%と最も高く、週「5日」以上の割合は63.0%となっている(図表22)。

シルバークラスの種別にみると、「1,000円」パス所持者は週「3日」が27.4%と最も高く、週「5日」以上の割合は27.4%であり、「20,510円」パス所持者は週「5日」が32.4%と最も高く、週「5日」以上の割合は44.2%となっている(図表22)。

図表 22 【あり方調査（70歳以上）】収入のある仕事の勤務日数
（年齢別、性別、居住地区別、シルバーパスの所持・種別）



【利用者実態調査】

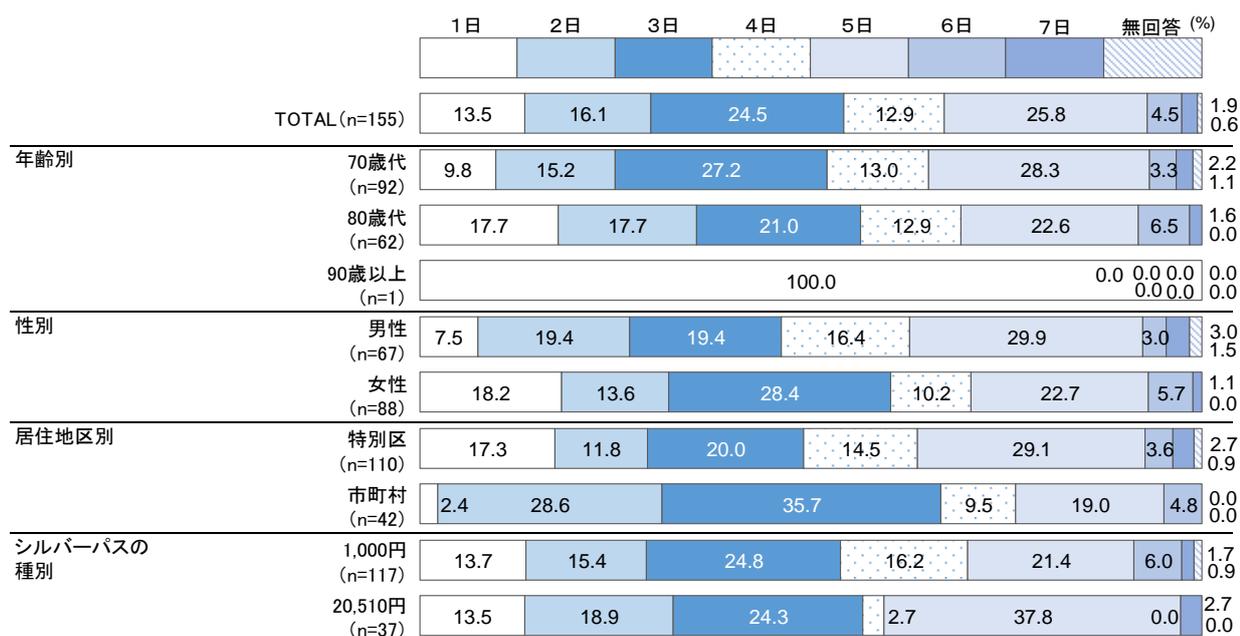
設問「収入のある仕事の頻度（定期・不定期）」における「定期」の内訳は、「5日」が25.8%と最も高く、週「5日」以上の割合は32.2%となっている（図表23）。

性別にみると、「男性」は週「5日」が29.9%と最も高く、週「5日」以上の割合は35.9%であり、「女性」は週「3日」が28.4%と最も高く、週「5日」以上の割合は29.5%となっている（図表23）。

居住地区別にみると、「特別区」は週「5日」が29.1%と最も高く、週「5日」以上の割合は35.4%であり、「市町村」は週「3日」が35.7%と最も高く、週「5日」以上の割合は23.8%となっている（図表23）。

シルバーパスの種別にみると、「1,000円」パス所持者は週「3日」が24.8%と最も高く、週「5日」以上の割合は29.1%であり、「20,510円」パス所持者は週「5日」が37.8%と最も高く、週「5日」以上の割合は40.5%となっている（図表23）。

図表 23 【利用者実態調査】収入のある仕事の勤務日数
（年齢別、性別、居住地区別、シルバーパスの種別）



(10) 仕事の勤務形態

- 設問「仕事の有無」において、「収入のある仕事をしている」と回答した人の仕事の勤務形態は、『あり方調査(70歳以上)』、『利用者実態調査』ともに、「派遣・契約・嘱託・パート・アルバイトなど」の割合が高く、次いで「自営業・個人事業主・自由業(家族従業者を含む)」が高い。

【あり方調査(70歳以上)】

設問「仕事の有無」において、「収入のある仕事をしている」と回答した人の仕事の勤務形態は、「派遣・契約・嘱託・パート・アルバイトなど」が39.7%、次いで「自営業・個人事業主・自由業(家族従業者を含む)」が34.3%となっている(図表24)。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「自営業・個人事業主・自由業(家族従業者を含む)」が高くなっている(図表24)。

居住地区別にみると、「特別区」、「市町村」とともに、「派遣・契約・嘱託・パート・アルバイトなど」が最も高くなっている。「特別区」は「派遣・契約・嘱託・パート・アルバイトなど」が37.9%、次いで「自営業・個人事業主・自由業(家族従業者を含む)」が36.9%であり、「市町村」は「派遣・契約・嘱託・パート・アルバイトなど」が43.0%、次いで「自営業・個人事業主・自由業(家族従業者を含む)」が29.7%となっている(図表24)。

図表24 【あり方調査(70歳以上)】仕事の勤務形態(年齢別、性別、居住地区別)

		自営業・ 個人事業主・ 自由業(家族 従業者を含む)	会社役員・ 団体役員	社員・職員	在宅勤務の 社員・職員	派遣・契約・ 嘱託・パート・ アルバイト など	その他	無回答	(%)
TOTAL (n=463)		34.3		9.1	7.8	0.6	39.7	5.8	2.6
年齢別	70歳～74歳 (n=295)	31.2		7.8	8.8	0.7	45.4	4.4	1.7
	75歳～79歳 (n=113)	37.2		12.4	5.3	0.9	31.9	7.1	5.3
	80歳～84歳 (n=42)	42.9		9.5	7.1	0.0	28.6	11.9	0.0
	85歳以上 (n=8)			75.0			0.0 0.0	0.0 0.0	12.5
性別	男性 (n=262)	34.0		10.7	9.2	0.4	38.5	6.1	1.1
	女性 (n=196)	35.2		6.6	5.6	1.0	41.3	5.6	4.6
居住地区別	特別区 (n=298)	36.9		8.4	7.4	0.7	37.9	5.4	3.4
	市町村 (n=165)	29.7		10.3	8.5	0.6	43.0	6.7	1.2

【利用者実態調査】

設問「仕事の有無」において、「収入のある仕事をしている」と回答した人の仕事の勤務形態は、「派遣・契約・嘱託・パート・アルバイトなど」が47.0%、次いで「自営業・個人事業主・自由業（家族従業者を含む）」が26.4%となっている（図表25）。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「自営業・個人事業主・自由業（家族従業者を含む）」が高くなっている（図表25）。

性別にみると、「女性」は「派遣・契約・嘱託・パート・アルバイトなど」が49.0%と「男性」の44.7%と比較して高くなっている。「男性」は、「自営業・個人事業主・自由業（家族従業者を含む）」、「会社役員・団体役員」、「社員・職員」が「女性」より高くなっている（図表25）。

居住地区別にみると、「特別区」は「自営業・個人事業主・自由業（家族従業者を含む）」が30.6%と「市町村」の17.5%と比較して高くなっている。また、「市町村」は「派遣・契約・嘱託・パート・アルバイトなど」が53.1%と「特別区」の44.3%と比較して高くなっている（図表25）。

図表 25 【利用者実態調査】仕事の勤務形態（年齢別、性別、居住地区別）

		自営業・ 個人事業主・ 自由業(家族 従業者を含む)	会社役員・ 団体役員	社員・職員	在宅勤務の 社員・職員	派遣・契約・ 嘱託・パート・ アルバイト など	その他	無回答 (%)
TOTAL (n=768)		26.4	6.5 3.1	0.1		47.0	13.3	3.5
年齢別	70歳代 (n=425)	24.5	3.5 3.8	0.0		54.4	11.3	2.6
	80歳代 (n=328)	28.4	10.1 2.4	0.3		39.3	15.2	4.3
	90歳以上 (n=15)	40.0		13.3 0.0	0.0 6.7		26.7	13.3
性別	男性 (n=329)	27.1		10.9 4.3	0.0	44.7	10.6	2.4
	女性 (n=437)	25.9	3.2 2.3	0.2		49.0	15.1	4.3
居住地区別	特別区 (n=540)	30.6	6.3 2.4	0.2		44.3	13.0	3.3
	市町村 (n=194)	17.5	7.2 4.6	0.0		53.1	14.9	2.6

(11) 収入源

- 『あり方調査(70歳以上)』、『利用者実態調査』ともに、「年金収入」が約9割。

【あり方調査(70歳以上)】

「年金収入」が85.5%と最も高く、次いで「給与収入」が15.2%となっている(図表26)。

性別にみると、「男性」は「給与収入」が20.1%と「女性」の11.5%と比較して高くなっている(図表26)。

図表26 【あり方調査(70歳以上)】収入源(複数回答)(年齢別、性別、居住地区別)

縦(%)	TOTAL	年齢別				性別		居住地区別	
		70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳以上	男性	女性	特別区	市町村
TOTAL(n=)	1868	849	570	321	107	798	1046	1139	729
年金収入	85.5	85.2	87.9	83.2	85.0	88.5	83.5	84.1	87.7
給与収入	15.2	22.7	11.4	5.0	5.6	20.1	11.5	16.0	14.0
事業収入	4.2	4.8	4.2	3.7	1.9	6.6	2.5	4.7	3.6
不動産収入	7.3	8.7	5.4	8.1	4.7	8.9	6.2	9.0	4.8
生活保護受給	2.4	2.5	2.5	1.9	2.8	3.0	1.9	2.8	1.8
家族からの援助	3.9	3.1	4.4	4.0	5.6	2.1	5.2	4.6	2.7
その他	2.1	2.6	1.8	1.6	1.9	2.9	1.5	2.1	2.1
無回答	8.4	7.7	7.5	10.6	11.2	4.5	11.2	8.1	8.9

【利用者実態調査】

「年金収入」が88.2%と最も高くなっている(図表27)。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「給与収入」の割合が低くなっている(図表27)。

性別にみると、「男性」は「給与収入」が7.7%と「女性」の3.8%と比較して高くなっている(図表27)。

図表27 【利用者実態調査】収入源(複数回答)(年齢別、性別、居住地区別)

縦%	TOTAL	年齢別			性別		居住地区別	
		70歳代	80歳代	90歳以上	男性	女性	特別区	市町村
TOTAL(n=)	7947	2294	5192	380	2072	5780	5010	2419
年金収入	88.2	88.1	88.9	89.5	89.2	88.5	88.7	89.5
給与収入	4.7	10.3	2.6	1.1	7.7	3.8	5.1	4.4
事業収入	1.1	2.1	0.7	0.8	2.7	0.6	1.5	0.6
不動産収入	3.0	3.3	2.9	2.6	4.2	2.6	4.1	1.3
生活保護受給	2.5	3.1	2.2	2.4	4.4	1.7	2.3	2.3
家族からの援助	4.6	4.2	4.9	3.9	2.5	5.4	5.2	3.6
その他	2.0	2.4	1.9	2.1	2.1	2.0	2.0	2.0
無回答	7.4	6.3	7.3	6.3	4.7	7.7	6.8	7.0

(12) 個人の税込の年収（年金を含む）の合計

- 「100万円未満」、「100万円～250万円未満」の合計が、『あり方調査(70歳以上)』では63.8%、『利用者実態調査』では78.2%であり、「400万円未満」まで範囲を広げるとそれぞれ78.6%、85.9%。
- 東京都福祉保健基礎調査「平成27年度『高齢者の生活実態』」と比べて、「100万円未満」は『あり方調査(70歳以上)』では+2.6%ポイント、『利用者実態調査』では+12.6%ポイント。

① 回答者の年収

【あり方調査(70歳以上)】

「100万円～250万円未満」が35.8%と最も高く、次いで「100万円未満」が28.0%となっており、合計は63.8%となっている。また、「400万円未満」まで範囲を広げると78.6%となっている(図表28)。

性別にみると、「女性」は「100万円未満」が41.6%と「男性」の9.9%と比較して高くなっている。一方、「男性」は「100万円～250万円未満」が40.5%と最も高く、「250万円～400万円未満」、「400万円以上」は「女性」と比較して高くなっている(図表28)。

居住地区別にみると、「市町村」は「100万円～250万円未満」が36.4%と「特別区」の35.5%と比較して高くなっている(図表28)。

居住地区・自動車運転免許の有無別にみると、「特別区」は、「免許なし」は「100万円未満」が38.5%と最も高く、「免許を返納した」は「100万円～250万円未満」が36.3%と最も高くなっている。一方、「市町村」は、「免許有/運転する」は「100万円～250万円未満」が35.1%と最も高く、「免許なし」は「100万円～250万円未満」が40.1%と最も高くなっている(図表29)。

図表28 【あり方調査(70歳以上)】個人の税込の年収(年齢別、性別、居住地区別)

		100万円未満	100万円～ 250万円未満	250万円～ 400万円未満	400万円以上	わからない (無回答を含む)(%)
TOTAL(n=1868)		28.0	35.8	14.8	9.9	11.5
年齢別	70歳～74歳 (n=849)	26.9	35.3	16.1	12.5	9.2
	75歳～79歳 (n=570)	28.9	38.1	13.0	8.1	11.9
	80歳～84歳 (n=321)	29.6	34.0	14.0	7.5	15.0
	85歳以上 (n=107)	24.3	36.4	17.8	5.6	15.9
性別	男性 (n=798)	9.9	40.5	25.7	16.5	7.4
	女性 (n=1046)	41.6	32.6	6.6	4.8	14.4
居住地区別	特別区 (n=1139)	29.1	35.5	13.4	9.6	12.5
	市町村 (n=729)	26.3	36.4	17.0	10.4	9.9

図表 29 【あり方調査 (70 歳以上)】個人の税込の年収
(居住地区・自動車運転免許の有無別)

横(%)		TOTAL (n=)	100万円未満	100万円～ 250万円未満	250万円～ 400万円未満	400万円以上	わからない (無回答を含む)
TOTAL		1868	28.0	35.8	14.8	9.9	11.5
特別区	免許有／運転する	216	13.9	35.2	20.8	22.2	7.9
	免許有／運転しない	121	15.7	47.1	20.7	11.6	5.0
	免許有／運転できない	28	42.9	32.1	14.3	0.0	10.7
	免許を返納した	292	29.8	36.3	14.7	8.2	11.0
	免許なし	423	38.5	33.6	7.8	4.7	15.4
市町村	免許有／運転する	302	15.9	35.1	24.2	15.2	9.6
	免許有／運転しない	53	18.9	43.4	22.6	7.5	7.5
	免許有／運転できない	19	42.1	36.8	0.0	5.3	15.8
	免許を返納した	123	25.2	47.2	13.8	8.1	5.7
	免許なし	212	40.1	31.6	10.4	6.1	11.8

【利用者実態調査】

「100万円～250万円未満」が40.2%と最も高く、次いで「100万円未満」が38.0%となっており、合計は78.2%となっている。また、「400万円未満」まで範囲を広げると85.9%となっている（図表30）。

年齢別にみると、「100万円未満」は年齢が上がるにつれて割合が低くなっており、「100万円～250万円未満」以上の合計の割合が高くなっている（図表30）。

性別にみると、「女性」は「100万円未満」が45.9%と、「男性」の16.7%と比較して高くなっている。一方、「男性」は「100万円～250万円未満」、「250万円～400万円未満」、「400万円以上」が「女性」と比較して高くなっている（図表30）。

居住地区別にみると、「特別区」は、「100万円～250万円未満」が41.1%、「市町村」は「100万円未満」「100万円～250万円未満」が40.0%となっている（図表30）

居住地区・運転免許の有無別にみると、「特別区」、「市町村」とともに、「免許なし」は「100万円未満」が最も高く、「市町村」は45.2%、「特別区」42.3%となっている（図表31）。

図表 30 【利用者実態調査】個人の税込の年収（年齢別、性別、居住地区別）

		100万円未満	100万円～ 250万円未満	250万円～ 400万円未満	400万円以上	わからない (無回答を含む) (%)
TOTAL (n=7947)		38.0	40.2	7.7	3.3	10.7
年齢別	70歳代 (n=2294)	45.4	36.7	5.8	3.7	8.3
	80歳代 (n=5192)	35.6	42.1	8.3	3.2	10.8
	90歳以上 (n=380)	28.9	40.8	11.3	3.9	15.0
性別	男性 (n=2072)	16.7	49.6	17.9	8.2	7.6
	女性 (n=5780)	45.9	37.2	4.1	1.6	11.2
居住地区別	特別区 (n=5010)	37.1	41.1	8.1	3.8	9.8
	市町村 (n=2419)	40.0	40.0	7.6	2.6	9.8

図表 31 【利用者実態調査】個人の税込の年収（居住地区・運転免許の有無別）

		TOTAL (n=)	100万円未満	100万円～ 250万円未満	250万円～ 400万円未満	400万円以上	わからない (無回答を含む)
TOTAL		7947	38.0	40.2	7.7	3.3	10.7
特別区	免許有／運転する	265	20.4	45.3	14.3	14.0	6.0
	免許有／運転しない	162	24.7	49.4	15.4	6.2	4.3
	免許有／運転できない	37	32.4	51.4	10.8	0.0	5.4
	免許を返納した	1403	30.2	44.0	12.3	4.6	8.9
	免許なし	2770	42.3	39.5	5.6	2.7	10.0
市町村	免許有／運転する	240	30.4	44.2	13.8	7.5	4.2
	免許有／運転しない	81	33.3	44.4	11.1	3.7	7.4
	免許有／運転できない	21	33.3	42.9	0.0	14.3	9.5
	免許を返納した	667	34.6	43.0	8.8	3.4	10.0
	免許なし	1280	45.2	37.9	6.1	1.1	9.8

② 年収別人口構成比との比較（図表 32）

各調査の回答者と、東京都福祉保健基礎調査「平成 27 年度『高齢者の生活実態』」における 70 歳以上の個人年収階層の割合を比較した。

【あり方調査（70 歳以上）】

「100 万円未満」は+2.6%ポイント、「100 万円～250 万円未満」は▲3.4%ポイント、「250 万円～500 万円未満」は▲2.1%ポイントとなっている。

【利用者実態調査】

「100 万円未満」は+12.6%ポイント、「250 万円～500 万円未満」は▲12.2 ポイントとなっており、『あり方調査（70 歳以上）』と比べ「100 万円未満」、「250 万円～500 万円未満」の差が大きくなっている。

図表 32 東京都福祉保健基礎調査「平成 27 年度『高齢者の生活実態』」
年収別人口構成比との比較

	個人年収	東京都福祉保健局基礎調査 「平成27年度『高齢者の生活実態』」		本調査データ		構成比の比較 (%ポイント)
		サンプル数 (実数)	構成比 (%)	サンプル数 (実数)	構成比 (%)	
（70歳以上調査）	TOTAL	3,132	-	1,868	-	-
	100万円未満	795	25.4%	523	28.0%	2.6%pt
	100万円～250万円未満	1,229	39.2%	669	35.8%	▲3.4%pt
	250万円～500万円未満	669	21.4%	359	19.2%	▲2.1%pt
	500万円～700万円未満	115	3.7%	58	3.1%	▲0.6%pt
	700万円～1,000万円未満	52	1.7%	26	1.4%	▲0.3%pt
	1,000万円以上	82	2.6%	19	1.0%	▲1.6%pt
	わからない	-	-	35	1.9%	1.9%pt
	無回答	190	6.1%	179	9.6%	3.5%pt
利用者実態調査	TOTAL	3,132	-	7,947	-	-
	100万円未満	795	25.4%	3,021	38.0%	12.6%pt
	100万円～250万円未満	1,229	39.2%	3,195	40.2%	1.0%pt
	250万円～500万円未満	669	21.4%	725	9.1%	▲12.2%pt
	500万円～700万円未満	115	3.7%	83	1.0%	▲2.6%pt
	700万円～1,000万円未満	52	1.7%	38	0.5%	▲1.2%pt
	1,000万円以上	82	2.6%	31	0.4%	▲2.2%pt
	わからない	-	-	151	1.9%	1.9%pt
	無回答	190	6.1%	703	8.8%	2.8%pt

(13) 配偶者の収入源

- 『あり方調査(70歳以上)』、『利用者実態調査』ともに、「年金収入」が約9割

【あり方調査(70歳以上)】

配偶者の収入源は、「年金収入」が88.9%と最も高く、次いで「給与収入」が14.3%となっている(図表33)。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「給与収入」の割合が低くなっている(図表33)。

性別(回答者)にみると、「女性」の配偶者は「年金収入」が90.7%、「給与収入」が12.8%となっている。一方、「男性」の配偶者は「年金収入」が87.3%、「給与収入」が15.7%となっている(図表33)。

居住地区別にみると、「年金収入」は「市町村」が91.7%と「特別区」の86.9%と比較して高くなっている。一方、「給与収入」は「特別区」が16.7%と「市町村」の11.0%と比較して高くなっている(図表33)。

図表33 【あり方調査(70歳以上)】配偶者の収入源(複数回答)(年齢別、性別、居住地区別)

縦(%)	TOTAL	年齢別				性別		居住地区別	
		70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	男性	女性	特別区	市町村
TOTAL(n=)	1194	586	359	198	50	644	548	702	492
年金収入	88.9	85.7	93.3	89.9	90.0	87.3	90.7	86.9	91.7
給与収入	14.3	18.9	11.4	8.6	4.0	15.7	12.8	16.7	11.0
事業収入	3.1	4.4	1.4	2.5	2.0	1.2	5.3	4.1	1.6
不動産収入	6.1	6.8	5.0	6.6	4.0	2.6	10.2	7.7	3.9
生活保護受給	0.8	0.7	0.8	1.5	0.0	0.3	1.5	1.1	0.4
家族からの援助	2.3	2.2	0.8	5.1	4.0	2.6	2.0	2.4	2.2
その他	1.8	1.7	2.8	1.0	0.0	2.5	1.1	2.4	1.0
無回答	2.9	3.6	1.9	3.0	2.0	2.8	3.1	3.1	2.6

※属性(年齢別、性別、居住地区別)については、「配偶者」でなく回答者「本人」の属性

【利用者実態調査】

配偶者の収入源は、「年金収入」が92.2%と最も高く、次いで「給与収入」が5.5%となっている(図表34)。

性別(回答者)にみると、「女性」の配偶者は「年金収入」が93.5%、「不動産収入」が6.2%となっている。一方、「男性」の配偶者は「年金収入」が90.5%、「給与収入」が4.8%となっている(図表34)。

図表34 【利用者実態調査】配偶者の収入源(複数回答)(年齢別、性別、居住地区別)

縦(%)	TOTAL	年齢別			性別		居住地区別	
		70歳代	80歳代	90歳以上	男性	女性	特別区	市町村
TOTAL(n=)	3853	1416	2322	100	1538	2292	2414	1248
年金収入	92.2	91.5	93.2	86.0	90.5	93.5	92.2	93.5
給与収入	5.5	10.4	2.7	3.0	4.8	6.0	6.3	4.2
事業収入	1.7	2.5	1.2	2.0	0.8	2.4	1.9	1.4
不動産収入	4.4	4.4	4.4	4.0	1.6	6.2	5.3	2.6
生活保護受給	1.2	1.6	0.8	3.0	1.8	0.7	1.1	1.1
家族からの援助	1.5	1.3	1.6	1.0	2.0	1.1	1.5	1.5
その他	1.6	1.7	1.4	4.0	2.0	1.3	1.7	1.3
無回答	2.9	2.0	3.2	7.0	3.3	2.6	2.8	2.6

※属性(年齢別、性別、居住地区別)については、「配偶者」でなく回答者「本人」の属性

(14) 配偶者の税込の年収（年金を含む）の合計

- 『あり方調査(70歳以上)』、『利用者実態調査』ともに、配偶者の年収は、「100万円未満」が最も高く、「100万円未満」と「100万円～250万円未満」の合計は、『あり方調査(70歳以上)』では70.0%、『利用者実態調査』では67.9%。
- 両調査とも、「男性」の配偶者は「100万円未満」が6割以上。

【あり方調査(70歳以上)】

「100万円未満」が39.8%、「100万円～250万円未満」が30.2%であり、合計は70.0%となっている(図表37)。

性別にみると、「男性」の配偶者は「100万円未満」が63.5%と最も高く、「女性」の配偶者の11.7%と比較して高くなっている。また、「女性」の配偶者は、「100万円～250万円未満」が38.0%と最も高くなっている(図表35)。

居住地区別にみると、「市町村」は「100万円未満」が44.5%と「特別区」の36.5%と比較して高く、「特別区」は「100万円～250万円未満」が30.6%と「市町村」の29.7%と比較して高くなっている(図表35)。

図表 35 【あり方調査(70歳以上)】配偶者の税込の年収
(年齢別、性別、居住地区別、個人年収別)

		100万円未満	100万円～ 250万円未満	250万円～ 400万円未満	400万円以上	わからない (無回答を含む)(%)
TOTAL(n=1194)		39.8	30.2	14.3	8.4	7.3
年齢別	70歳～74歳 (n=586)	37.4	31.7	13.5	10.2	7.2
	75歳～79歳 (n=359)	41.8	27.9	15.3	7.2	7.8
	80歳～84歳 (n=198)	40.9	29.3	16.2	7.1	6.6
	85歳以上 (n=50)	50.0	34.0	8.0	0.0	8.0
性別	男性 (n=644)	63.5	23.8	5.1	2.0	5.6
	女性 (n=548)	11.7	38.0	25.2	15.9	9.3
居住地区別	特別区 (n=702)	36.5	30.6	14.5	10.1	8.3
	市町村 (n=492)	44.5	29.7	14.0	5.9	5.9
個人年収別	100万円未満(n=354)	24.0	34.7	25.4	10.7	5.1
	100万円～250万円未満 (n=380)	47.6	35.5	8.7	6.1	2.1
	250万円～400万円未満 (n=207)	56.0	25.6	10.6	3.9	3.9
	400万円以上(n=136)	50.7	24.3	5.9	15.4	3.7

※属性(年齢別、性別、居住地区別、個人年収別)については、「配偶者」でなく回答者「本人」の属性

【利用者実態調査】

「100万円未満」が35.0%、「100万円～250万円未満」が32.9%であり、合計は67.9%となっている（図表36）。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、「100万円未満」の割合が高くなっている（図表36）。

性別にみると、「男性」の配偶者は「100万円未満」が67.5%と最も高く、「女性」の配偶者の13.2%と比較して高くなっている。また、「女性」の配偶者は「100万円～250万円」が40.1%と最も高くなっている（図表36）。

居住地区別にみると、「特別区」は「100万円未満」が37.0%と「市町村」の31.1%と比較して高く、「市町村」は「100万円～250万円未満」が33.3%と「特別区」の32.7%と比較して高くなっている（図表36）。

図表 36 【利用者実態調査】配偶者の税込の年収（年齢別、性別、居住地区別、個人年収別）

		100万円未満	100万円～250万円未満	250万円～400万円未満	400万円以上	わからない (無回答を含む) (%)
TOTAL (n=3853)		35.0	32.9	18.3	6.2	7.7
年齢別	70歳代 (n=1416)	28.0	37.9	19.1	7.8	7.2
	80歳代 (n=2322)	38.5	30.6	18.2	5.1	7.7
	90歳以上 (n=100)	53.0	17.0	11.0	6.0	13.0
性別	男性 (n=1538)	67.5		22.2	2.2	7.0
	女性 (n=2292)	13.2	40.1	29.2	9.5	8.1
居住地区別	特別区 (n=2414)	37.0	32.7	16.2	6.1	8.0
	市町村 (n=1248)	31.1	33.3	22.9	6.1	6.7
個人年収別	100万円未満 (n=1820)	25.7	35.1	25.4	7.6	6.2
	100万円～250万円未満 (n=1189)	43.9	37.3	11.3	3.7	3.9
	250万円～400万円未満 (n=355)	59.7	23.9	10.7	2.8	2.8
	400万円以上 (n=158)	59.5	16.5	8.2	13.3	2.5

※属性（年齢別、性別、居住地区別、個人年収別）については、「配偶者」でなく回答者「本人」の属性

図表 37 (参考) 【利用者実態調査】年齢別、性別（個人年収・配偶者年収別）

		TOTAL (n=)	年齢別				性別		
横 (%)			70歳代	80歳代	90歳以上	無回答	男性	女性	無回答
TOTAL		3853	36.8	60.3	2.6	0.4	39.9	59.5	0.6
本人 100万円未満	配偶者 100万円未満	467	30.0	64.7	4.3	1.1	46.0	53.3	0.6
	100万円～250万円未満	639	49.3	49.3	1.1	0.3	4.5	95.0	0.5
	250万円～400万円未満	463	40.8	57.5	1.3	0.4	0.6	98.7	0.6
	400万円以上	139	51.1	46.0	2.2	0.7	0.7	97.8	1.4
本人 100万円～ 250万円未満	配偶者 100万円未満	522	28.4	68.6	3.1	0.0	94.1	5.4	0.6
	100万円～250万円未満	443	36.6	61.6	1.8	0.0	45.4	54.2	0.5
	250万円～400万円未満	134	35.8	63.4	0.7	0.0	4.5	95.5	0.0
	400万円以上	44	36.4	61.4	2.3	0.0	13.6	84.1	2.3
本人 250万円～ 400万円未満	配偶者 100万円未満	212	26.4	68.4	5.2	0.0	97.6	1.9	0.5
	100万円～250万円未満	85	35.3	64.7	0.0	0.0	85.9	12.9	1.2
	250万円～400万円未満	38	34.2	57.9	5.3	2.6	42.1	55.3	2.6
	400万円以上	10	60.0	40.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0
本人 400万円以上	配偶者 100万円未満	94	42.6	53.2	4.3	0.0	100.0	0.0	0.0
	100万円～250万円未満	26	30.8	65.4	3.8	0.0	96.2	3.8	0.0
	250万円～400万円未満	13	46.2	46.2	7.7	0.0	61.5	38.5	0.0
	400万円以上	21	38.1	61.9	0.0	0.0	28.6	71.4	0.0

(15) シルバーパスの所持状況

- 「所持」は、『あり方調査(70歳以上)』では50.7%と半数を占め、「女性」は67.4%、「男性」は28.8%。「特別区」は55.3%、「市町村」は43.6%。
- 個人年収が上がるにつれて「所持」の割合が低くなる傾向。「所持」は、「100万円未満」は70.6%だが、「400万円以上」になると15.1%。

【あり方調査(70歳以上)】

「所持」が50.7%であり、「未所持」は47.2%となっている(図表38)。

年齢別にみると、「70歳～74歳」は「所持」が42.9%であり、「75歳～79歳」以上になると「所持」が5割を超えている(図表38)。

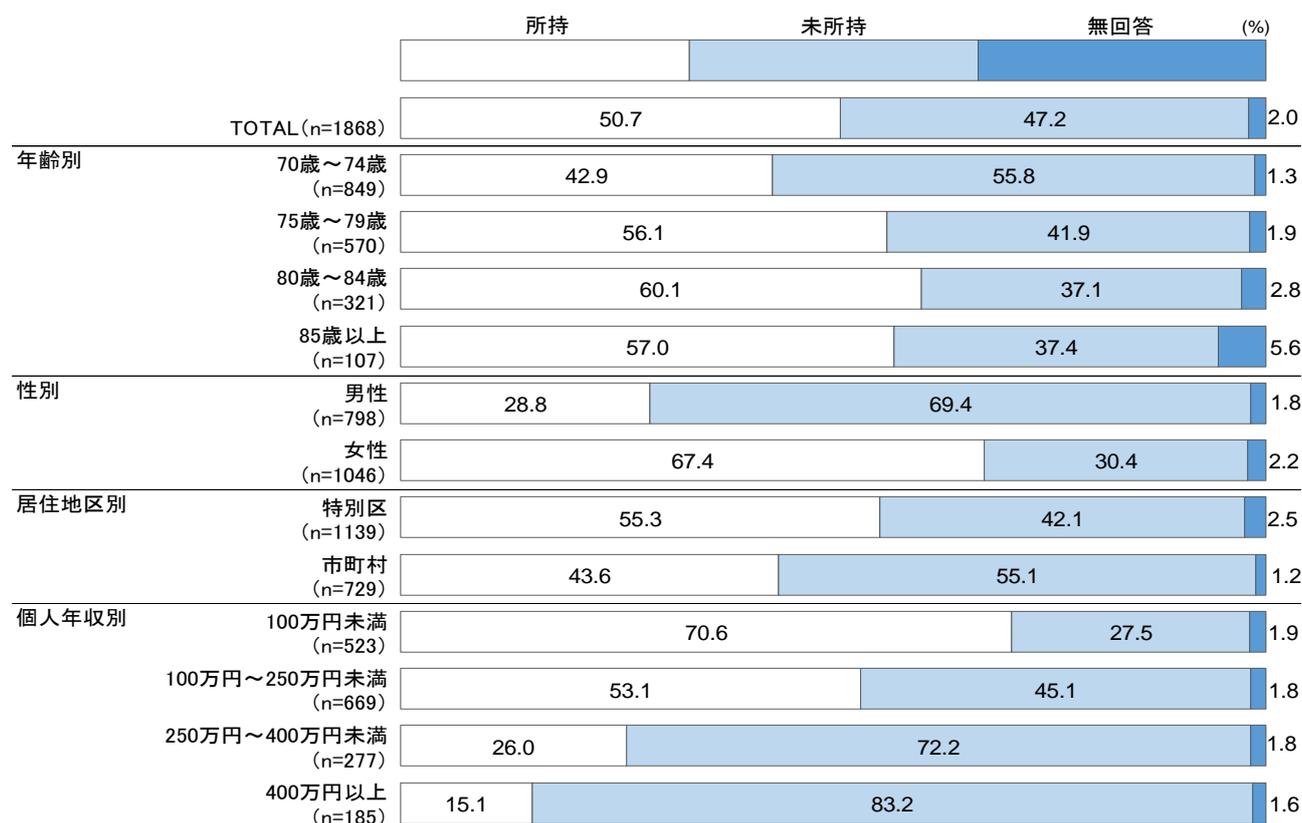
性別にみると、「女性」は「所持」が67.4%と「男性」の28.8%と比較して高く、一方、「男性」は「未所持」が69.4%と「女性」の30.4%と比較して高くなっている(図表38)。

居住地区別にみると、「特別区」は「所持」が55.3%、「市町村」は「未所持」が55.1%となっている(図表38)。

個人年収別にみると、個人年収が上がるにつれて「所持」の割合が低くなり、「400万円以上」では15.1%となっている(図表38)。

なお、平成30年度のシルバーパス発行割合は、「特別区」47.3%、「市」44.3%、「町村」25.2%となっている(図表39)。

図表 38 【あり方調査(70歳以上)】シルバーパスの所持状況
(年齢別、性別、居住地区別、個人年収別)



図表 39 (参考)【平成 30 年度実績】シルバーパス発行枚数・発行割合 (居住地区別)

	70歳以上人口(人)	発行枚数(枚)	発行割合(%)
特別区	1,477,092	698,235	47.3%
市	744,463	329,716	44.3%
町村	20,080	5,053	25.2%
計	2,241,635	1,033,004	46.1%

(※) 人口は、「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」の概要 (平成 30 年 1 月 1 日時点)

(※) 発行枚数は、平成 30 年 10 月 (一斉更新含む) から令和元年 9 月末までの発行数

(16) シルバーパスを所持していない理由

- 「シルバーパスが利用できる交通機関をあまり利用しないため」が 43.8%と最も高く、次いで「自分・家族の車やタクシーを利用しているため」が 31.9%。

【あり方調査（70 歳以上）】

「シルバーパスが利用できる交通機関をあまり利用しないため」が 43.8%と最も高く、次いで「自分・家族の車やタクシーを利用しているため」が 31.9%となっている（図表 40）。

また、「その他」の回答として、「利用しないため（JR、私鉄を使う、バスは使わない、対象路線がない等）」、「収入があるため」、「自転車を使うため」、「徒歩で移動するため」等があった。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「ほとんど外出しないため」の割合が高くなっている（図表 40）。

性別にみると、「女性」は「シルバーパスが利用できる交通機関をあまり利用しないため」が 50.6%と「男性」の 40.6%と比較して高くなっている。一方「男性」は、「利用者が負担する費用が高いため」が 22.7%と「女性」の 14.8%と比較して高くなっている（図表 40）。

居住地区別にみると、「市町村」は「シルバーパスが利用できる交通機関をあまり利用しないため」が 45.3%（「特別区」42.5%）、「自分・家族の車やタクシーを利用しているため」が 39.8%（「特別区」25.2%）となっている（図表 40）。

普段の外出回数別にみると、「週に 5 回以上」は「シルバーパスが利用できる交通機関をあまり利用しないため」が 45.9%と最も高くなっている（図表 40）。

ひとりでの外出状況別にみると、「ひとりで外出できる」は、「シルバーパスが利用できる交通機関をあまり利用しないため」が最も高くなっている（図表 40）。

図表 40 【あり方調査（70歳以上）】シルバーパスを所持していない理由(複数回答)
(年齢別、性別、居住地区別、普段の外出回数別、ひとりでの外出状況、個人年収別)

縦(%)	TOTAL	年齢別				性別		居住地区別	
		70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳以上	男性	女性	特別区	市町村
TOTAL(n=)	882	474	239	119	40	554	318	480	402
シルバーパス制度を知らなかったため	7.0	7.8	7.5	3.4	2.5	7.9	5.0	6.0	8.2
シルバーパスの取得・更新手続きがわからないため	11.5	13.7	10.5	6.7	2.5	11.7	10.7	13.8	8.7
シルバーパスが利用できる交通機関をあまり利用しないため	43.8	46.0	48.1	31.9	37.5	40.6	50.6	42.5	45.3
自分・家族の車やタクシーを利用しているため	31.9	32.9	30.5	29.4	37.5	30.7	34.0	25.2	39.8
都営交通無料乗車券や精神障害者都営交通乗車証を利用しているため	2.5	1.9	2.5	1.7	5.0	2.7	1.3	4.4	0.2
利用者が負担する費用が高いため	19.7	20.3	21.3	16.8	15.0	22.7	14.8	19.8	19.7
シルバーパス制度は利用したくないと思うため	5.0	5.5	5.4	4.2	0.0	5.1	5.0	5.0	5.0
ほとんど外出しないため	8.4	4.6	7.5	19.3	25.0	6.9	11.0	10.6	5.7
その他	14.4	15.0	11.7	16.0	17.5	15.0	13.5	14.6	14.2
無回答	3.2	2.3	2.9	5.9	5.0	2.7	3.8	2.5	4.0

縦(%)	普段の外出回数別					ひとりでの外出状況		
	週に5回以上	週に2~4回	週に1回	月に2~3回	ほとんど外出しない	ひとり外出できる	付き添いがあれば外出できる	付き添いがあっても外出できない
TOTAL(n=)	414	324	42	38	42	769	64	23
シルバーパス制度を知らなかったため	7.0	7.7	7.1	0.0	7.1	7.4	3.1	4.3
シルバーパスの取得・更新手続きがわからないため	12.3	11.7	9.5	10.5	7.1	12.2	7.8	4.3
シルバーパスが利用できる交通機関をあまり利用しないため	45.9	44.4	50.0	28.9	28.6	45.5	32.8	17.4
自分・家族の車やタクシーを利用しているため	31.4	33.0	42.9	26.3	28.6	30.3	45.3	47.8
都営交通無料乗車券や精神障害者都営交通乗車証を利用しているため	1.9	2.8	0.0	2.6	4.8	2.2	3.1	4.3
利用者が負担する費用が高いため	19.3	23.1	9.5	13.2	4.8	20.8	7.8	0.0
シルバーパス制度は利用したくないと思うため	5.3	5.6	4.8	2.6	2.4	5.6	1.6	0.0
ほとんど外出しないため	2.4	7.1	11.9	15.8	64.3	4.9	31.3	65.2
その他	15.5	13.3	9.5	18.4	14.3	14.2	14.1	21.7
無回答	3.1	2.8	2.4	5.3	4.8	3.4	3.1	0.0

縦(%)	TOTAL	個人年収別			
		100万円未満	100万円~250万円未満	250万円~400万円未満	400万円以上
TOTAL(n=)	882	144	302	200	154
シルバーパス制度を知らなかったため	7.0	7.6	7.3	5.0	7.8
シルバーパスの取得・更新手続きがわからないため	11.5	16.0	13.6	5.0	12.3
シルバーパスが利用できる交通機関をあまり利用しないため	43.8	43.1	41.4	49.0	42.2
自分・家族の車やタクシーを利用しているため	31.9	33.3	30.8	31.5	35.1
都営交通無料乗車券や精神障害者都営交通乗車証を利用しているため	2.5	2.1	2.3	3.0	1.3
利用者が負担する費用が高いため	19.7	4.2	18.9	27.0	27.9
シルバーパス制度は利用したくないと思うため	5.0	3.5	4.6	6.5	7.1
ほとんど外出しないため	8.4	10.4	8.3	7.0	6.5
その他	14.4	14.6	11.9	17.5	15.6
無回答	3.2	4.2	1.7	3.0	3.9

(17) 所持しているシルバーパスの種別

- 『あり方調査(70歳以上)』、『利用者実態調査』ともに、約9割が「1,000円」パスを所持。

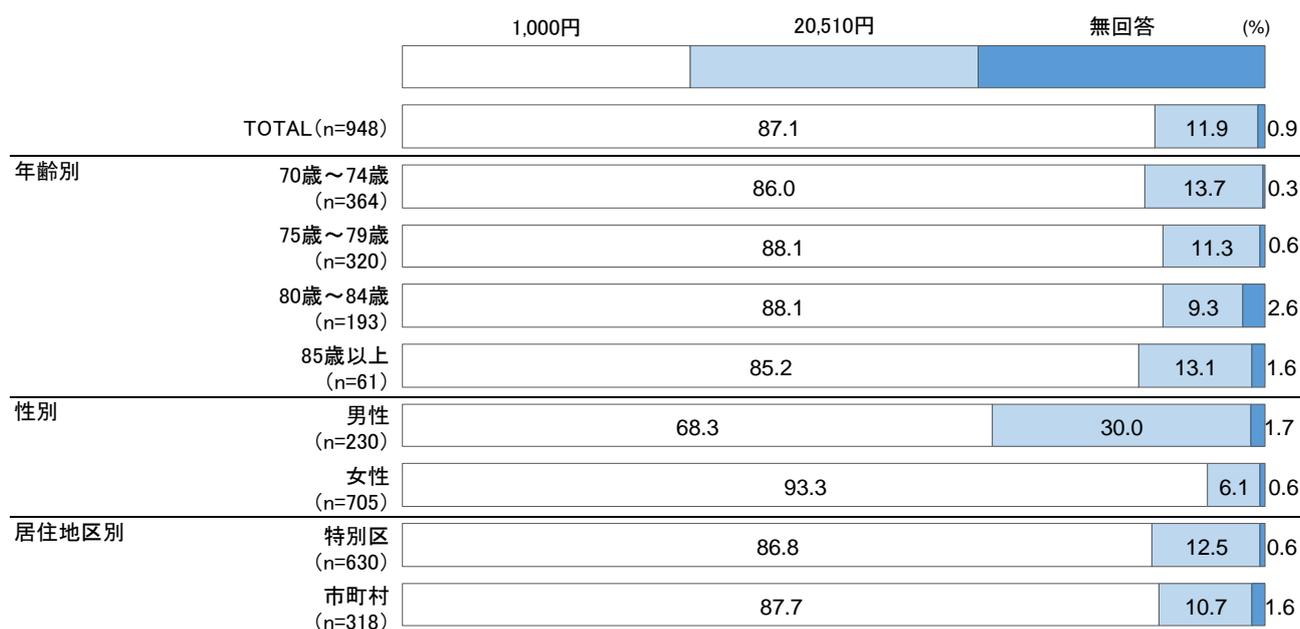
【あり方調査(70歳以上)】

シルバーパス所持者のシルバーパスの種別は、「1,000円」パスが87.1%、「20,510円」パスが11.9%となっている(図表41)。

性別にみると、女性は「1,000円」パス所持者が93.3%と「男性」の68.3%と比較して高くなっている。一方、「男性」は「20,510円」パス所持者が30.0%と「女性」の6.1%と比較して高くなっている(図表41)。

居住地区別にみると、「市町村」は「1,000円」パス所持者が87.7%と「特別区」の86.8%と比較して高く、一方「特別区」は「20,510円」パス所持者が12.5%と「市町村」の10.7%より高くなっている(図表41)。

図表 41 【あり方調査(70歳以上)】所持しているシルバーパスの種別
(年齢別、性別、居住地区別)



図表 42 (参考)【あり方調査 (70 歳以上)】所持しているシルバーパスの種別
(個人年収・配偶者年収別)

横(%)		TOTAL (n=)	1,000円	20,510円	無回答
TOTAL		548	85.8	13.7	0.5
本人 100万円未満	配偶者 100万円未満	52	96.2	0.0	3.8
	100万円～250万円未満	101	100.0	0.0	0.0
	250万円～400万円未満	62	100.0	0.0	0.0
	400万円以上	25	100.0	0.0	0.0
本人 100万円～ 250万円未満	配偶者 100万円未満	72	90.3	9.7	0.0
	100万円～250万円未満	63	85.7	12.7	1.6
	250万円～400万円未満	21	90.5	9.5	0.0
	400万円以上	8	87.5	12.5	0.0
本人 250万円～ 400万円未満	配偶者 100万円未満	30	20.0	80.0	0.0
	100万円～250万円未満	10	10.0	90.0	0.0
	250万円～400万円未満	7	28.6	71.4	0.0
	400万円以上	2	100.0	0.0	0.0
本人 400万円以上	配偶者 100万円未満	7	0.0	100.0	0.0
	100万円～250万円未満	5	0.0	100.0	0.0
	250万円～400万円未満	0	0.0	0.0	0.0
	400万円以上	3	0.0	100.0	0.0

【利用者実態調査】

「1,000円」パスが88.1%、「20,510円」パスが10.7%となっている（図表43）。

性別にみると、女性は「1,000円」パス所持者が94.8%と「男性」の69.8%と比較して高くなっている。一方、「男性」は「20,510円」パス所持者が28.9%と「女性」の4.2%と比較して高くなっている（図表43）。

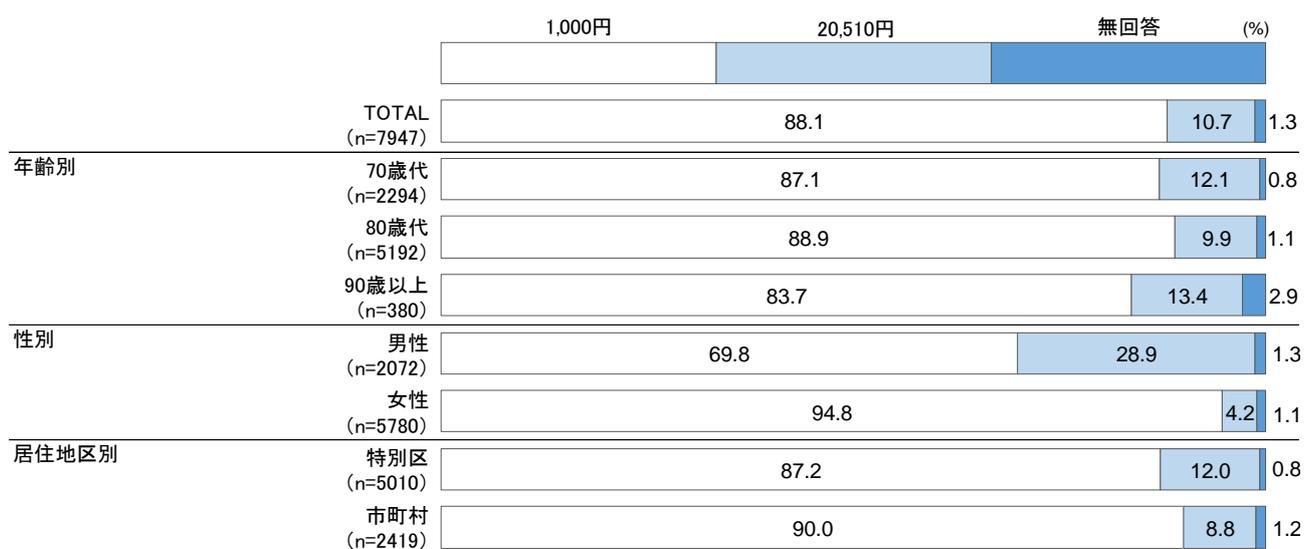
居住地区別にみると、「市町村」は「1,000円」パス所持者が90.0%と「特別区」の87.2%と比較して高く、一方、「特別区」は「20,510円」パス所持者が12.0%と、「市町村」の8.8%より高くなっている（図表43）。

個人年収・配偶者年収別にみると、配偶者年収が「250万円～400万円未満」、「400万円以上」でも「1,000円」パス所持者が一定数いる（図表44）。

なお、シルバーパスの所得基準は個人年収による。

なお、平成30年度のシルバーパス発行割合は、「1,000円」パスが89.1%、「20,510円」パスが10.9%となっている（図表45）。

図表 43 【利用者実態調査】所持しているシルバーパスの種別（年齢別、性別、居住地区別）



図表 44 【利用者実態調査】所持しているシルバーパス種別（個人年収・配偶者年収別）

横(%)		TOTAL (n=)	1,000円	20,510円	無回答
TOTAL		3853	83.8	15.2	1.0
本人 100万円未満	配偶者 100万円未満	467	98.1	0.6	1.3
	100万円～250万円未満	639	99.4	0.3	0.3
	250万円～400万円未満	463	98.7	0.6	0.6
	400万円以上	139	99.3	0.7	0.0
本人 100万円～ 250万円未満	配偶者 100万円未満	522	85.1	14.8	0.2
	100万円～250万円未満	443	91.9	7.9	0.2
	250万円～400万円未満	134	93.3	6.7	0.0
	400万円以上	44	86.4	11.4	2.3
本人 250万円～ 400万円未満	配偶者 100万円未満	212	14.6	84.9	0.5
	100万円～250万円未満	85	25.9	74.1	0.0
	250万円～400万円未満	38	34.2	65.8	0.0
	400万円以上	10	30.0	70.0	0.0
本人 400万円以上	配偶者 100万円未満	94	4.3	95.7	0.0
	100万円～250万円未満	26	7.7	92.3	0.0
	250万円～400万円未満	13	7.7	92.3	0.0
	400万円以上	21	23.8	76.2	0.0

図表 45 (参考) 【平成 30 年度実績】シルバーパス発行枚数・種別割合（シルバーパス種別）

	発行枚数(枚)	種別割合(%)
1,000円パス	920,201	89.1%
20,510円パス	112,803	10.9%
計	1,033,004	100.0%

(※) 人口は、「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」の概要（平成 30 年 1 月 1 日時点）

(※) 発行枚数は、平成 30 年 10 月（一斉更新含む）から令和元年 9 月末までの発行数

(18) シルバーパスの認知度

- 『あり方調査(20歳～69歳)』では、「内容はよくわからないが聞いたことがあった」の割合がいずれの年齢層でも最も高い。「20歳代」から「50歳代」までは、年齢が上がるにつれて「制度の内容を含めて知っていた」が高くなる。
- 「知らなかった」が「20歳代」30.9%、「30歳代」20.7%で他の年齢層と比べて高い。

【あり方調査(20歳～69歳)】

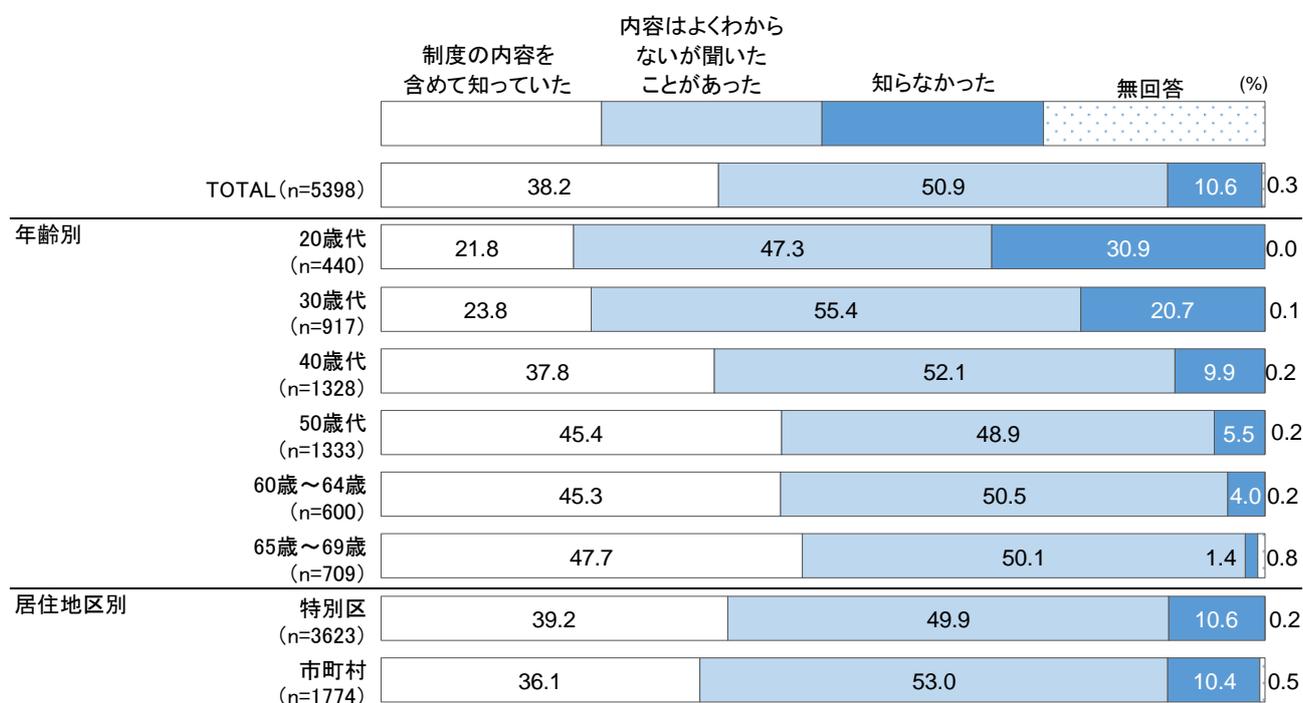
「内容はよくわからないが聞いたことがあった」が50.9%と最も高く、次いで「制度の内容を含めて知っていた」が38.2%、「知らなかった」が10.6%となっている(図表46)。

年齢別にみると、「20歳代」から「50歳代」までは、年齢が上がるにつれて「制度の内容を含めて知っていた」が高くなっている(図表46)。

居住地区別にみると、「特別区」は「制度の内容を含めて知っていた」が39.2%であり「市町村」の36.1%と比較して高くなっている(図表46)。

また、年齢・居住地区別にみると、「65歳～69歳」の「市町村」では「内容はよくわからないが聞いたことがあった」が59.6%となっている。また、「特別区」では「制度の内容を含めて知っていた」が52.4%と「市町村」の37.7%と比較して高くなっている(図表47)。

図表 46 【あり方調査(20歳～69歳)】 シルバーパスの認知度(年齢別、居住地区別)



図表 47 【あり方調査 (20 歳～69 歳)】シルバーパスの認知度 (年齢・居住地区別)

横 (%)		TOTAL (n=)	制度の内容 を含めて知っ ていた	内容はよくわ からないが聞 いたことが あった	知らなかった
TOTAL		5398	38.2	50.9	10.6
20歳代	特別区	311	21.2	46.6	32.2
	市町村	129	23.3	48.8	27.9
30歳代	特別区	637	25.0	54.8	20.3
	市町村	280	21.1	56.8	21.8
40歳代	特別区	915	38.3	51.6	10.2
	市町村	413	36.8	53.3	9.4
50歳代	特別区	881	46.7	48.6	4.7
	市町村	452	42.9	49.6	7.1
60歳～64歳	特別区	347	46.7	49.9	3.2
	市町村	253	43.5	51.4	5.1
65歳～69歳	特別区	481	52.4	45.5	1.2
	市町村	228	37.7	59.6	1.8
無回答	特別区	51	43.1	45.1	7.8
	市町村	19	52.6	42.1	0.0

(19) 身近なシルバーパス利用者の有無

- 『あり方調査(20歳～69歳)』では、「利用している人はいない」の割合がいずれの年齢層でも最も高い。
- 年齢別にみると、「家族が利用している」が「40歳代」、「50歳代」で約3割であり、他の年齢層と比べて高い。また、「65歳～69歳」は「知人が利用している」が41.7%と他の年齢層と比べて高い。

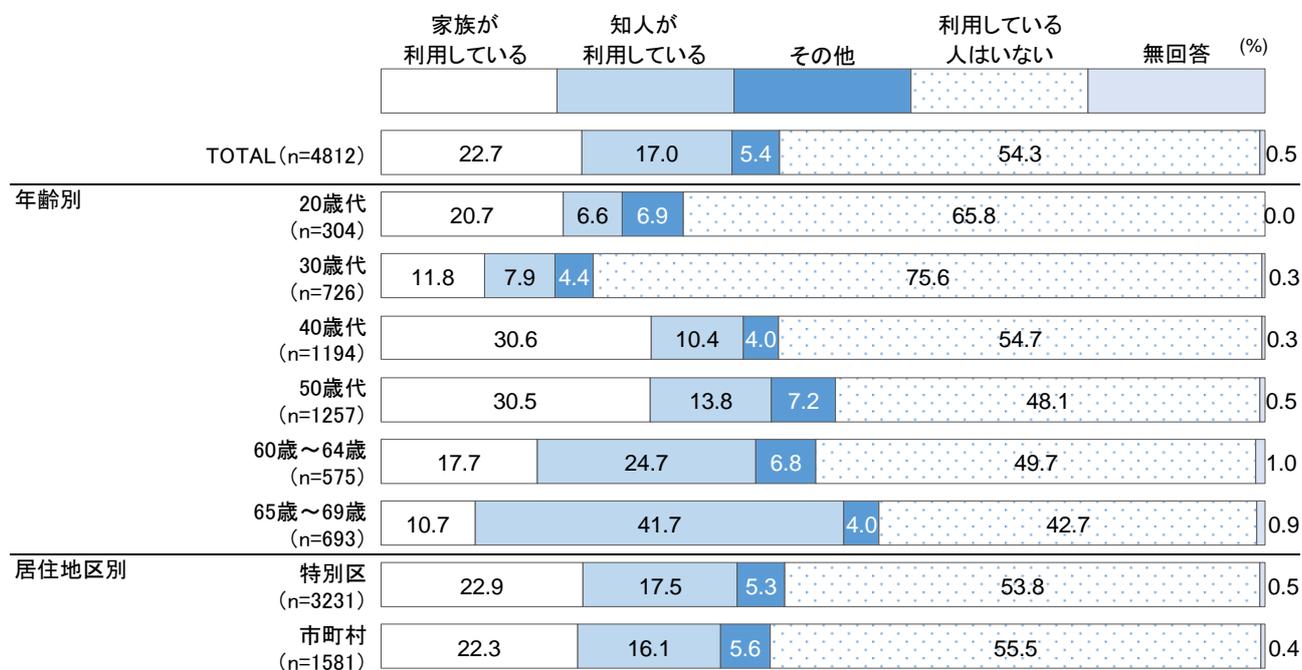
【あり方調査(20歳～69歳)】

「利用している人はいない」が54.3%と最も高く、次いで「家族が利用している」が22.7%、「知人が利用している」が17.0%となっている(図表48)。

年齢別にみると、「30歳代」は「利用している人はいない」が75.6%、「20歳代」は65.8%となっている。また、「40歳代」は「家族が利用している」が30.6%、「50歳代」では30.5%、「65歳～69歳」は「知人が利用している」が41.7%、「60歳～64歳」では24.7%と他の年齢層と比較して高くなっている(図表48)。

年齢・居住地区別にみると、「65歳～69歳」の「市町村」では「利用している人はいない」が49.1%と「特別区」の39.7%と比較して高くなっている(図表49)。

図表 48 【あり方調査(20歳～69歳)】身近なシルバーパス利用者の有無
(年齢別、居住地区別)



図表 49 【あり方調査（20歳～69歳）】身近なシルバーパス利用者の有無（年齢・居住地区別）

横(%)		TOTAL (n=)	家族が利用 している	知人が利用 している	利用している 人はいない	その他
TOTAL		4812	22.7	17.0	54.3	5.4
20歳代	特別区	211	20.4	6.2	66.4	7.1
	市町村	93	21.5	7.5	64.5	6.5
30歳代	特別区	508	12.4	8.5	74.8	3.9
	市町村	218	10.6	6.4	77.5	5.5
40歳代	特別区	822	30.0	10.9	54.3	4.6
	市町村	372	31.7	9.1	55.6	2.7
50歳代	特別区	839	30.4	14.1	48.0	6.9
	市町村	418	30.6	13.2	48.1	7.9
60歳～64歳	特別区	335	19.1	26.9	47.8	5.1
	市町村	240	15.8	21.7	52.5	9.2
65歳～69歳	特別区	471	11.7	42.7	39.7	4.9
	市町村	222	8.6	39.6	49.1	2.3